

令和2年度

事業概要

社会福祉法人東桜会

目 次

法人の沿革	1
施設の概要	2
I 特別養護老人ホーム麻機園	2
II ケアハウス桜花	4
法人の理念	6
令和2年度事業計画	7
事業の状況	20
I 社会福祉法人東桜会	
〔1〕 法人の経営施設及び事業	21
〔2〕 組織図	22
〔3〕 職員の状況	23
〔4〕 理事会・評議員会の開催状況	24
〔5〕 財務規律の確立に向けた取組	26
〔6〕 低所得者に対する社会福祉法人利用者負担軽減制度事業	26
〔7〕 地域社会への貢献	26
II 特別養護老人ホーム麻機園	28
III ケアハウス桜花	38
IV 在宅サービス	
【1】 麻機園（ショートステイ）	45
【2】 麻機園デイサービスセンター	46
【3】 麻機園ヘルパーステーション	50
【4】 麻機園ケアプランサービス	52

法人の沿革

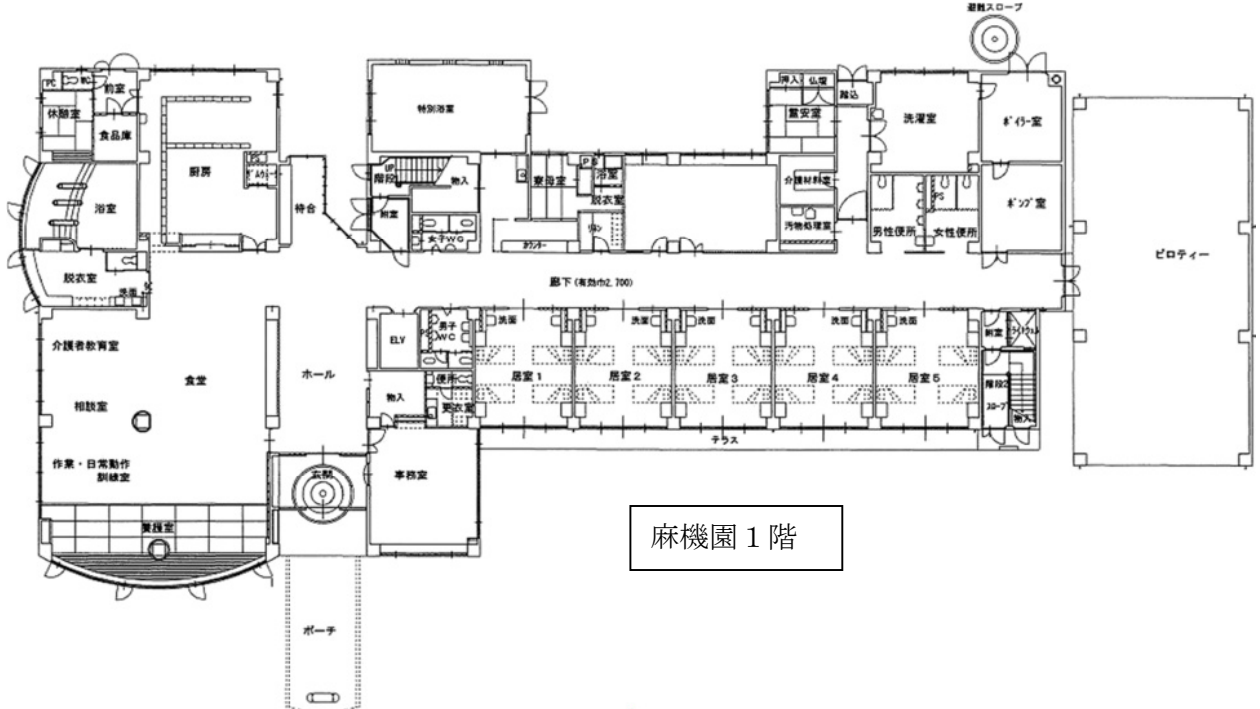
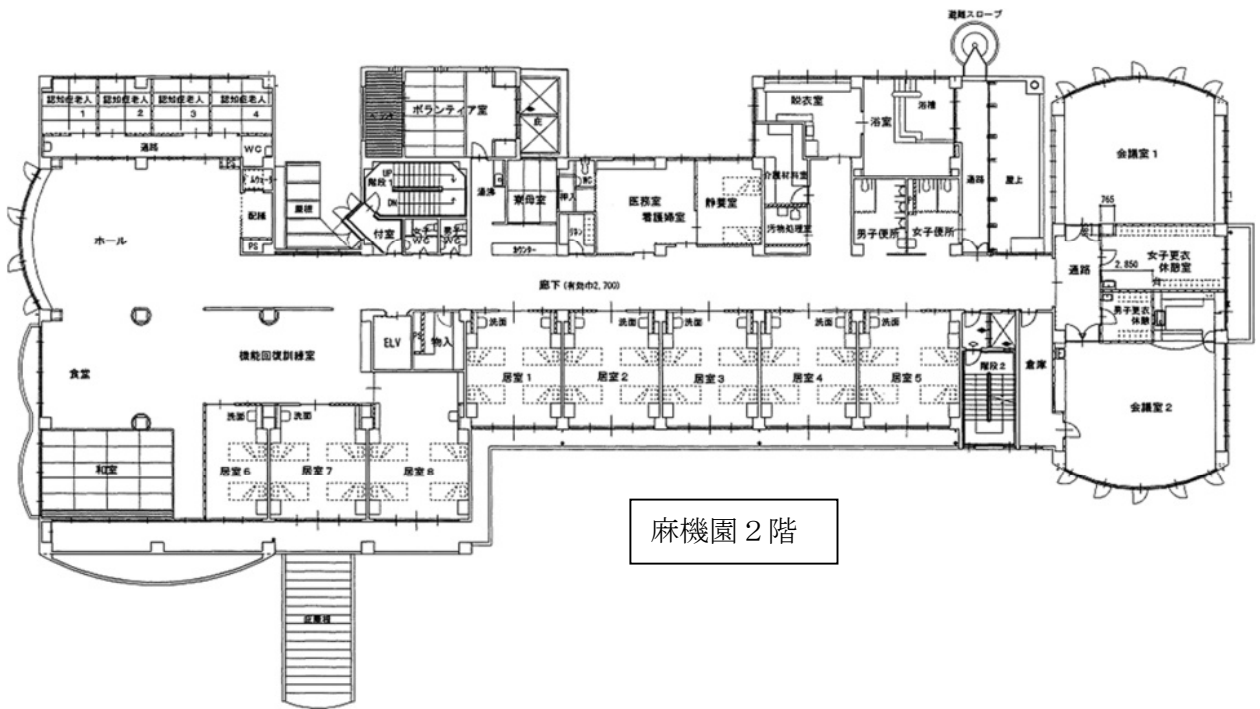
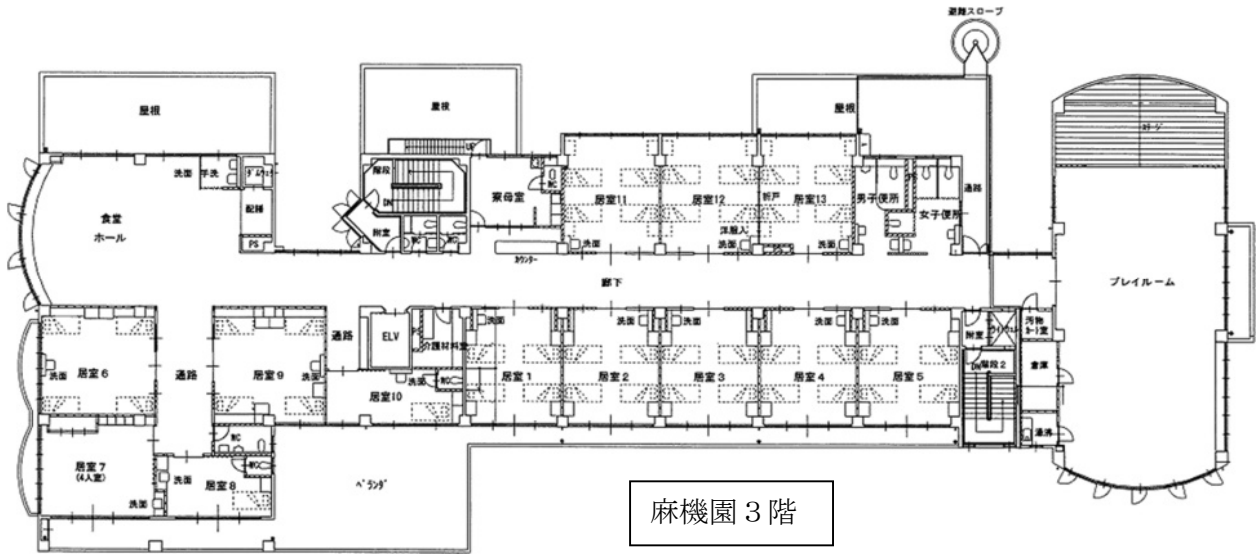
昭和62年 1月	社会福祉法人、特別養護老人ホーム設立準備会発足
62年 9月21日	特別養護老人ホーム麻機園 建築工事着工
62年10月13日	社会福祉法人東桜会 認可
63年 3月20日	特別養護老人ホーム麻機園 竣工
63年 4月 1日	特別養護老人ホーム麻機園 開園 (定員50名 ショートステイ4名)
63年10月 1日	麻機園デイサービスセンター 開始
平成 2年10月 1日	麻機園入浴サービス事業 開始
3年 7月29日	特別養護老人ホーム麻機園 増築工事着工
4年 1月 1日	麻機園在宅介護支援センター事業 開始
4年 3月 1日	麻機園ホームヘルプサービス事業 開始
4年 3月25日	特別養護老人ホーム麻機園 増築工事竣工
4年 4月 1日	特別養護老人ホーム麻機園増床 (定員80名 ショートステイ20名)
8年 8月 1日	軽費老人ホームケアハウス桜花 建築工事着工
8年11月 1日	麻機園食事サービス事業 開始
9年 3月31日	軽費老人ホームケアハウス桜花 竣工
9年 4月 1日	軽費老人ホームケアハウス桜花 開設 (定員50名) 在宅介護支援センター、ヘルパーステーション併設
10年 4月 1日	麻機園デイサービス (E型) 事業 開始
11年 4月 1日	ホリデイサービス (B型) 事業 開始
11年10月 1日	麻機園ケアプランサービス 開始
12年 4月 1日	介護保険事業 開始
12年10月 1日	静岡市有永グループホーム 受託開始
14年 3月31日	麻機園食事サービス事業 終了
15年 3月31日	麻機園入浴サービスセンター事業 終了
15年12月 1日	麻機園デイサービスセンター 利用定員変更
18年 3月31日	麻機園在宅介護支援センター 委託事業終了
18年 4月 1日	介護予防事業 開始
19年12月20日	麻機園デイサービスセンター 利用定員変更
20年 3月31日	静岡市有永グループホーム 指定管理業務終了
20年 8月31日	麻機園デイサービスセンター 営業日変更
22年 4月30日	麻機園デイサービスセンター 認知症対応型介護予防通所介護事業廃止
27年10月31日	麻機園デイサービスセンター 認知症対応型通所介護事業 休止
28年 3月 1日	麻機園デイサービスセンター 利用定員変更 (地域密着型) (定員18名)
28年12月31日	麻機園デイサービスセンター 認知症対応型通所介護事業 廃止
30年 4月 1日	新総合事業 (通所介護・訪問介護) 開始

施設の概要

I. 特別養護老人ホーム 麻機園

1. 施設名称 麻機園 (あさはたえん)
2. 施設の種別 特別養護老人ホーム
3. 経営主体 社会福祉法人 東桜会
4. 所在地 静岡市葵区東527番地の1
TEL(054)247-8739 FAX(054)247-8640
5. 事業開始 昭和63年4月1日
6. 定員 80名 (介護老人福祉施設)
7. 併設事業 麻機園 (短期入所生活介護事業所) 20名
麻機園デイサービスセンター (地域密着型通所介護事業所) 18名/日
8. 構造 鉄筋コンクリート造 3階建
9. 敷地面積 8,322.20㎡
10. 建築面積 1,443.15㎡
11. 床面積 3,497.46㎡
 - 1階 1,148.40㎡
 - 2階 1,261.91㎡
 - 3階 1,087.15㎡

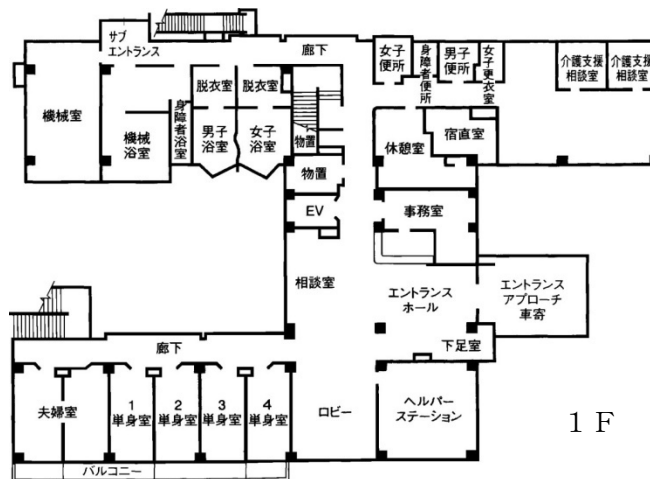
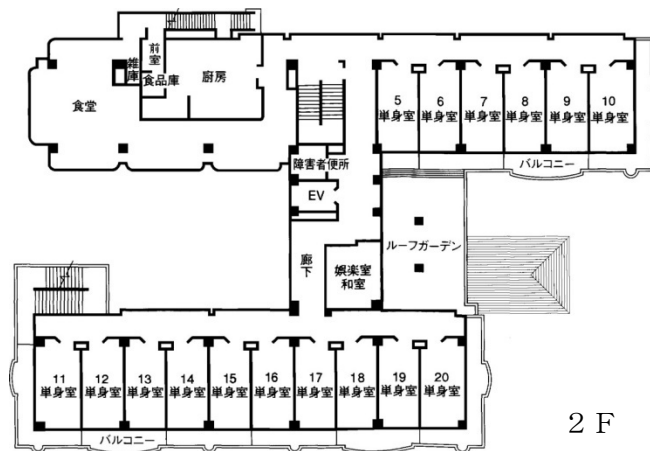
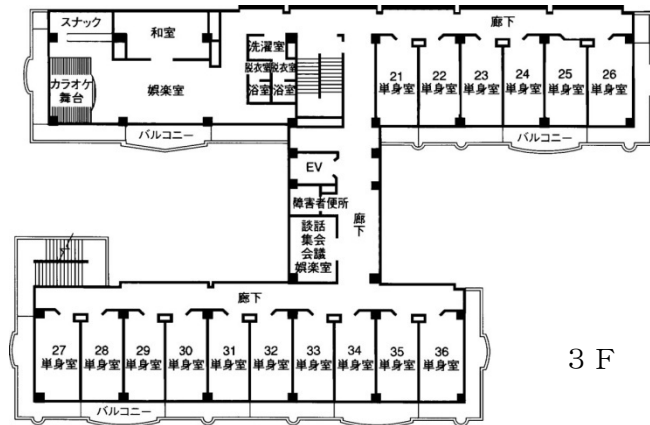
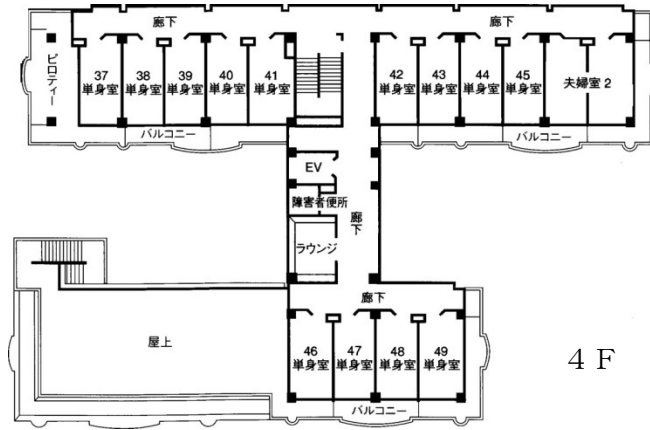
12. 特別養護老人ホーム麻機園 平面図



Ⅱ. ケアハウス桜花

- | | |
|----------|---|
| 1. 施設名称 | ケアハウス桜花 (けあほうすおうか) |
| 2. 施設の種別 | 軽費老人ホーム (ケアハウス) |
| 3. 経営主体 | 社会福祉法人 東桜会 |
| 4. 所在地 | 静岡市葵区東532番地の4
TEL(054)247-6663 FAX(054)247-6671 |
| 5. 事業開始 | 平成9年4月1日 |
| 6. 定員 | 50名 |
| 7. 併設事業 | 麻機園ケアプランサービス (居宅介護支援事業所)
麻機園ヘルパーステーション (訪問介護事業所) |
| 8. 構造 | 鉄筋コンクリート造 4階建 |
| 9. 敷地面積 | 3,020.58㎡ |
| 10. 建築面積 | 1,030.64㎡ |
| 11. 床面積 | 3,167.86㎡
1階 915.85㎡
2階 837.99㎡
3階 804.96㎡
4階 609.06㎡ |

12. ケアハウス桜花 平面図



《社会福祉法人東桜会の理念等》

〔法人の目的〕

私たちは、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として事業を行います。

〔施設運営理念〕

法人の目的を達成するため、公平で公正な開かれた施設運営を永続し、地域の拠点施設となるように努めるとともに地域福祉の向上に資するよう努めます。

〔施設運営方針〕

利用者の多様なニーズに応えられる職員を育成し、利用者が、生きがいを持ち明るく快適な生活ができる住環境の整備に努めます。

〔サービス提供理念〕

利用者一人ひとりのニーズと意思を尊重した質の高いサービスを提供し、利用者の生活の質の向上を目指すとともに、利用者の自立を目指し、利用者と共に生き、利用者の回復を目指します。

〔サービス提供方針〕

サービスの利用を希望する人たちが、利用者自らが受けられるサービスを選択し決定できる環境を作るとともに、利用者の残存能力を発見し、引き出し、活用ができるような環境を作ることに努めます。

令和 2 年度事業計画

(各職種の目標に対する実績記載付)

《社会福祉法人東桜会 令和2年度事業計画》

〔1〕基本方針

1. 法人・施設の中・長期計画の策定に取り掛かる。
2. 法人の理念、施設運営方針等について再確認し、表現方法等を検討する。
3. 働きやすい職場環境を目指し、職員の採用、定着に努める。
4. 地域に存する社会福祉法人として、地域の様々な団体組織・人々と連携して地域に貢献する。

〔2〕経営施設及び事業の種類

1. 指定を受けた介護保険事業（介護予防・日常生活支援総合事業を含む）を経営する
 - (1)介護老人福祉施設 麻機園
 - (2)短期入所生活介護事業 麻機園
 - (3)地域密着型通所介護事業 麻機園デイサービスセンター
 - (4)訪問介護事業 麻機園ヘルパーステーション
 - (5)居宅介護支援事業 麻機園ケアプランサービス
2. 社会福祉事業として次の事業を行う
 - (1)軽費老人ホーム ケアハウス桜花
3. 静岡市から委託を受けて次の事業を行う
 - (1)要支援、要介護認定の訪問調査を行う（麻機園ケアプランサービス）
 - (2)静岡市高齢者一時保護施設確保事業を行う（短期入所麻機園）
4. 地域包括支援センターから委託を受けて次の事業を行う
 - (1)介護予防プランの作成

〔3〕域社会に貢献する取組み・地域交流等

地域社会に貢献する取組みとして、平成29年度から実施している施設を開放した地域住民へのサービス（さくらカフェ）を継続すると共に、更に地域の団体組織・人々と連携して地域に貢献し、福祉の向上を目指す。

- 「さくらカフェ」は感染予防の為施設内では行えなかったが、野外にて介護予防体操やシニアカー試乗会等年2回地域の公園に出張して行った。
- ・地域の老人会でレクレーション、介護講座等の支援を行い介護予防活動のサポートをする。
 - 地域団体より依頼があり介護講座を行った。
- ・地域の催事や訓練へ参加し、地域とのつながりを深める。
 - 地域で行われている作品展に施設入所者やデイサービス利用者の作品を出展した。
- ・在宅高齢者の自宅を訪問し、介護相談を受け必要に応じ地域資源や公的サービス等に繋げる。
 - 在宅高齢者の困り事や介護相談を受け必要に応じ地域資源や公的サービス等に繋げた。
- ・社会交流や外出の機会が少ない男性高齢者に、ボランティア活動を通し得意なことを活かせるような生きがい支援策計画する。
- ・放課後こども教室実行委員会と連携し、地域住民と子どもたちが触れ合い一緒に楽しく活動の機会が持てるようにサポートする。
 - 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から地域活動の自粛が続いた。感染予防対策を優先し、時期や内容を検討しながら地域の団体組織・人々と連携に努めた。

〔4〕評議員会、理事会の開催予定

- | | | |
|------------|-----|--|
| ①監事監査 | 5月 | 令和元年度事務事業及び決算の審査 |
| ②第1回理事会 | 5月 | 令和元年度事業報告、決算及び定時評議員会予定など |
| ③定時評議員会 | 6月 | 令和元年度決算認定 |
| ④監事監査 | 10月 | 令和2年度期中監査 |
| ⑤第3回理事会 | 10月 | 令和2年度補正予算、事務事業の報告等 |
| ⑥第1回臨時評議員会 | 10月 | 令和2年度補正予算承認 ※補正予算がある場合 |
| ⑦第4回理事会 | 12月 | 事務事業報告等 |
| ⑧第5回理事会 | 3月 | 令和2年度補正予算及び令和3年度事業計画、予算
次期役員評議員候補者の選定など |
| ⑨第2回臨時評議員会 | 3月 | 令和2年度補正予算及び令和3年度事業計画、予算承認 |
- ※予算又は事業計画等に係る議題のあるときには臨時に理事会、評議員会を開催する。

〔5〕建物・設備の修繕・改修等の予定

麻機園及びケアハウス桜花の建物本体及び付属設備、設備・備品等の経年劣化の著しい箇所について大規模な修繕又は改修等を計画・予定するとともに、職員の業務軽減に資する設備・用具等の導入を検討する。

1. 特別養護老人ホーム麻機園

- ①受電設備改修修繕等
- ②空調設備の更新修繕等
- ③電話設備更新
- ④厨房機器・設備更新
- ⑤エレベータ、ダムウエータの改修修繕
- ⑥居室網戸、フェンス等の改修取替
- ⑥介護記録等のシステム導入を検討
- ⑦介護ロボット等介護機器の導入を検討

2. ケアハウス桜花

- ①外壁改修工事
- ②電気使用量等集中監視装置更新
- ③電話設備・課金装置更新
- ④建物周辺地盤沈下への対応

《特別養護老人ホーム麻機園》

〔1〕基本方針

1. 利用者ご家族の要望に的確に応えられるよう、各職種間の連携を密にする。
2. 利用者への生活援助者としてふさわしい職員になるよう資質の向上に務める。
3. 職員体制等を整え、介護保険制度の定める条件を遵守して事業を行う。

〔2〕利用者処遇各職の目標

1. 相談員及び介護支援専門員

(目標1) 入所者がその人らしく安心して暮らせるような環境創りに努める。

- ・入所者の思いを聴く機会をつくる。

行事等で入所者が集まる時に、行事等について意見を聴き、記録として残す。

入所者個々に話を聴いた時には、記録を残しカンファレンス等に役立てる。

→入所者から、行事をなるべく減らさないでほしいという意見が多く、コロナ禍でどのように行事を開催すればいいのか悩んだ。祭りや敬老会など今までと違う方法ではあったが開催することができ利用者が楽しめる行事となった。

入所者個々に話をし、本人の要望を職員や家族にフィードバックすることができた。

- ・家族の希望、意向を伺う機会をつくる。

年1回家族説明会を開催する。

面会時等、家族の希望や意向を聴いた時には、記録を残す。

→今年度の族説明会は中止。

面会は窓越しで行い入所者と家族が会話できるように工夫した。面会時家族の希望を聞き対応した。同時に情報提供に努めた。

- ・入所者の様子をご家族へ報告する機会を増やす。

→入所者と家族が電話で直接話ができるように支援した。その際日頃の様子を家族に報告した。

3カ月に1回の預り金報告に合わせて入所者の写真を家族に送り大変喜ばれた。

- ・入所者、家族の意向をもとに、その人らしく自立した生活を目指す介護計画を作成する。

→意向を聞き介護計画を作成しているが、まだ不十分である。

- ・入所者が必要としている車椅子やベッド等の物品を見直し、購入を検討する。

→今年度は車椅子、ベッドの購入は無し。

(目標2) 職員研修を行なう

- ・職員会議、介護職会議の機会に、職員研修を計画的に行なう。

- ・職員全員が参加できる研修会を開催する。

- ・職員の知りたいことを研修内容に組み込めるように、職員の意向を聞く機会を設ける。

→感染症に関する研修を中心に行うことができた。

(目標3) 入所率を98%以上に保つ。

- ・優先入所検討委員会を適宜開催する。

- ・入所申込者に「麻機園に入所したい」と思ってもらえるようにする。

施設見学の際に、麻機園の職員や入所者、施設の明るい雰囲気を感じてもらおう。入所に結びつかなかったとしても、麻機園は明るくて感じがよかったとイメージアップに繋がるようにする。

- ・他特養相談員、老健相談員、ケアマネジャー等との情報交換を行ない連携できるようにする。

→入所率前年比微減。97.5%となる。入院者数の増加と新型コロナウイルスの影響で入所日

を調整したのが原因。

施設見学を中止しているので、その分入所申込者に麻機園の良さをアピールできるように丁寧に説明した。

他施設やケアマネジャーと情報交換し、入所希望者を紹介していただいた。

(目標4) 職員が働きやすい環境にする。

- ・必要物品や修繕箇所を検討し改善する。
- ・移乗ロボット等を導入し介護職の負担軽減に努める。
→今年度は実施できていない。

(目標5) 各種マニュアルを見直し、改正する。

→今年度は実施できていない。

2. 介護職

(共通目標)

- ・手洗いうがいを励行し、感染予防に努める。
→手洗い、うがいの声かけを意識し取り組み、食事前にはアルコールでの消毒、おしぼりでの手拭きを行い感染予防に努めた。
- ・担当居室内を整理整頓し、フロアの清潔を保つ。
→定期的に行うことができなかった。居室担当者が自主的に行うことは少なかったため呼びかけることが必要。
- ・褥瘡の予防、早期改善に努める。
→早期発見に努めた。発赤を作ってしまうことがあったが、早急に改善策を決めることができた。
- ・申し送り、報連相を確実に言い、統一した介護を行う。
→申し送りが不十分なことや、確認不足により報連相が行えていないことがあった。
- ・ゆっくりと話を聴き、心地良いと感じてもらえるような言葉遣い、優しい口調で話す。
→業務に追われるとゆっくりと話を聞くことが出来ず、口調も強くなってしまっていた。
職員同士が言葉遣いに対し注意し合えるように努めていきたい。
- ・離床後の布団の整理整頓、臥床後の衣類・車椅子・靴・膝掛け・カーテンを整える。
→日常的に出来ていた。
- ・入所者の身だしなみを整える。
→整容、身だしなみを整えることが出来た。

(1階の目標)

- ・入所者に自分で出来ることの喜びを感じてもらえるように援助する。
→入所者に洗濯物やおしぼりを畳んでもらうことで職員が感謝の言葉を伝えることで喜びを感じてもらえることが出来た。また、職員と共に壁画作りを行い、達成感を感じてもらえることが出来た。

(2階の目標)

- ・読み手が理解できる文章を書く。
→文章はその都度考えているが誤字脱字はある。読み手に分かりやすい文章、見やすい文字を書くように呼び掛けていく。

(3階の目標)

- ・前年度より転倒事故や入所者の怪我等を一件でも減らすことに努める。
→立ち上がり時の転倒事故が多かった。見守り、所在確認をしているが間に合わずに対応出来な

い時があった。

3. 看護職

“その人らしく、安心して快適な生活が出来るように健康面から援助する。”

(目標1) 生活を支える看護

- ・個々に応じた日常生活が営むことができるように、介護職と協力し合いながら看護援助を行なう。
→多職種と協力し、看護援助をすることができた。

(目標2) 感染予防と入所者の健康を維持するための看護対策を行なう。

- ・他職種と協力を図り、入所者の体調変化に対応する。
- ・毎日の手洗い、うがい、建物の換気を実行するよう喚起し、感染予防に努め他職員にも啓発する。
- ・入所者の健康管理の年間計画を立案し実施する。
→入所者の年間計画による健康管理はできた。多職種と共に毎日の手洗い、うがい、換気等協力して行なえた。

(目標3) 生活の延長上にある自然な看取りへの看護

- ・その人らしく穏やかな時間を過ごせる様な環境を作り、施設での生活が少しでも続けられるように看護援助をする。
→看取り状況の入所者に対して、経口から少しでも食事を摂ってもらえるよう、多職種と関わり行なえた。

4. 機能訓練指導員

(目標1) 入所者の残存機能の維持・向上を目指し、安全な生活が送れるよう訓練する。

- ・個々の残存機能を把握し、多職種と情報交換を密に行ない、個々に適した目標を設定し機能訓練に努める。
→多職種と情報交換を行なうことでその方に合った目標を設定することができた。また目標に対しての個別機能訓練を行なえた。
- ・個々の目標に向け、週に2回以上の個別機能訓練を実施する。
→全員はできなかった。実施日を決めるべきだと思う。
- ・普段の生活の中で出来ることを増やし、その人らしく自立した日常生活の維持、向上に努める。また生活の場に即した動作の訓練を行なう。
→できるだけ生活の場で生かされるような機能訓練を行なえた。
- ・自立した生活の援助として、安全に移動が出来るよう歩行器を導入したい。
→導入できなかった。
- ・拘縮予防や褥瘡の発生を防ぐため、適切なポジショニングを行なう。そのためポジショニングクッション、介助グローブ、スライディングシートを導入したい。
→導入できた。また、ポジショニングの研修に参加するなど知識をつけることができた。
- ・3ヶ月に一度、目標の評価・見直しを行ない入所者又は家族に進捗状況を説明する。
→できた。新型コロナウイルスの影響により家族に会う機会が減ってしまったが、入所者には進捗状況を伝え機能訓練に取り組んでもらえた。

(目標2) 楽しんで生活してもらえるように援助する。

- ・集団機能訓練を1日1回30分間実施し、楽しさ、喜びを伴い、心身の健康や生活の質の向上に努める。
→できた。飽きないように努力し、楽しんで運動ができることを考えながら行うことができた。

- ・季節を感じてもらうため、毎月季節のカレンダーの塗り絵を行ない居室に掲示する。また行事にちなんだ壁画作りを行なう。
 - 毎月のカレンダーはできたが、壁画作りはできなかった。
- ・行事に積極的に参加しコミュニケーションをとる。また園外に出る機会を増やし日常の生活を楽しんでもらえるように援助する。
 - 積極的に行事に関わることができた。新型コロナウイルスの影響により外出する機会を作れなかった。

5. 栄養・給食

(目標1) 安全で満足感を味わえるような食事を提供する。

- ・旬の食材を取り入れ、季節を感じられる献立や料理を充実させる。
 - 旬の食材を献立に取り入れ、季節や行事を感じられる内容となった。
- ・食べる会を年5回は実施し、入所者の方々に喜んで頂ける食事を提供する。
 - 目標の5回を大きく上回り、毎月食べる会を実施し、喜んで頂けた。
- ・嗜好調査を年1回実施し、献立に反映させる。
 - 出来た。取り入れられるものは今後の献立に反映させる。
- ・衛生管理を徹底し、食中毒防止・感染症対策に努める。
 - 出来た。
- ・デイサービス利用者とおやつ作りを月1回程度実施する。
 - 手作り出来そうなおやつに挑戦し、楽しくおやつ作りが出来た。

(目標2) 栄養管理を徹底する。

- ・個々にあった栄養ケア計画書を作成し、定期的に見直しを行い、低栄養予防・改善を図る。
 - 補助食品を併用するなど、低栄養予防に取り組んだ他、定期的な体重測定をし、入所者の体重管理などに努めた。
- ・食事摂取量が低下してきた方には、高カロリー食品を取り入れるなど対応していく。
 - 高カロリードリンクや、ゼリーを用意し、個人に合ったものを提供出来た。
- ・他職種と情報交換を密にし、利用者に適した食事サービスに努める。
 - 特に寮母と情報交換を密に出来た。

(目標3) 災害時の給食体制を検討する。

- ・災害対応給食マニュアルを整備する。
 - 出来なかった。
- ・備蓄食品の管理・見直しを行い、期限が近い食品は、献立に取り入れる。
 - 出来た。非常食を5日分から7日分に増やし、なめらか食対応の食品も取り入れた。期限が近くなったものは、献立に取り入れ、無駄なく使うことが出来た。

[3] 会議・研修

1. 会議の種類

(1) 全体

- ①職員会議 ②部門連絡会 ③在宅利用連絡会 ④厚生委員会 ⑤研修委員会
⑥広報委員会

(2) 麻機園

- ①優先入所検討委員会 ②介護職会議 ③リーダー会議 ④パート会議

- ⑤行事担当者会議 ⑥給食会議 ⑦安全委員会 ⑧衛生委員会 ⑨事故防止委員会
⑩感染症対策委員会 ⑪身体拘束廃止委員会 ⑫褥瘡予防委員会 ⑬食事委員会
⑭排泄委員会 ⑮入浴委員会 ⑯事故検討委員会 ⑰サービス検討会 ⑱マニュアル検討会

2. 在宅部門を含めた全体会議を主催し職員相互の連携を計るとともに、定期的に部門毎、職種毎の会議を開く。
3. 委員会や担当者会議を開催し、利用者処遇の向上や、効率的な介護体制作りに努める。
4. 研修会、研究会、講習会等へ積極的に参加し資質の向上に努めるとともに、出席した職員の報告会を行う。

〔4〕地域交流等

1. ボランティア及び実習、体験学習等を受け入れるとともに、幼児や学生の訪問を受け交流する。
2. 新たなボランティアの受入れをすすめる。

〔5〕施設・設備

1. 建物及び付属設備等の老朽化に伴う必要な改修、修繕又は取替等を行う。
2. 利用者処遇の向上のため必要な住環境整備を行う。
3. 什器設備の適切な維持管理を行う。

〔6〕防災対策

1. 地震、火災時に備え、職員の防災に対する知識を向上させると共に、定期的に訓練を行い、設備の使用法の修得、避難誘導技術の向上を目指す。
2. 災害時のマニュアルの見直し及び体制を整備する。

〔7〕感染症対策

年間を通じて感染症に対して注意を払い、情報の収集に務めると共に、職員の感染症対策に対する知識を向上させる。

《ケアハウス桜花》

〔1〕基本方針

安全で安心な住みよい環境を提供し、健康的で充実した生活が送れるよう支援する。

〔2〕運営

（目標1）情報提供と営業活動で入居申込者を増やす。

- ・入居待機者を確保し年間入居率95%以上を目指す。

→前年に比べて入居申込者が少なく待機者の確保ができなかった。

年間入居率は91%で目標を達成できなかった。

- ・居宅介護支援事業所をはじめ、地域包括支援センター、医療機関等の地域連携室等へ訪問し施設の紹介、空き状況など情報発信する。

→ケアマネや病院相談員等からの問い合わせに応じ、パンフレットの郵送希望にはできる限り事業所に出かけて顔を見せる営業を心がけた。

- ・地域連携担当と協働し、町内会、民生委員など地域に施設を知ってもらう機会を設ける。
→地域連携担当者に地域の集会所の集まりに参加させてもらい施設の紹介を行った。

(目標2) 高齢者の特性に配慮した環境を整備する。

- ・必要な施設内外の修繕を行い、入居者が安全に暮らせる環境を整える。
→安全な環境整備に向けて必要な修繕を行った。

(目標3) 相談機能を充実させる。

- ・入居者からの相談に傾聴し、安心な生活が送れるように努める。
→入居者からの声に耳を傾けてきたが、入居者から聞き出す環境づくりに欠けていた。
- ・地域住民や事業所などが相談しやすい環境を備える。
→接客や対応の態度などに配慮して相談しやすい環境に心がけた。

〔3〕入居者処遇

(目標1) 健康で可能な限り自立した生活の場づくりをめざす。

- ・年に1回の健康診査、結核健康診断など受診できるよう情報提供し診断結果を把握する。
→特定健診受診やかかりつけ医での健康診断の結果を提出してもらっている。
- ・服薬内容の把握、かかりつけ医との連携、適切な助言をして疾病予防に努める。
→薬預り者の服薬状況の把握、必要に応じてかかりつけ医の医師あてに情報提供している。
- ・必要に応じた介護保険サービスや施設サービスを円滑に利用できるよう提案する。
→介護保険サービス利用が必要となった時には、ケアマネージャーと連携し介護認定申請やサービス提供事業所に情報提供し円滑にサービスの利用ができるよう心がけている。
- ・感染症の早期予防に努める。
→新型コロナウイルス感染症の流行により感染症予防対策を講じた。
- ・入居者の健康、生活上の相談をしやすい環境を作る。
→入居者の体調の変化や困りごとに気付けるよう声かけしている。

(目標2) 残存機能の維持と余暇活動の援助を行う。

- ・ボランティアや地域住民を受け入れ、地域とのコミュニケーションの機会を作る。
→新型コロナウイルス感染症の流行に伴い今年度は外部からの受け入れができなかった。
- ・午後2時からの「にじサロン」を継続的に開催し、体操や脳トレなどで機能低下を予防する。「でんでん体操」「ちゃきちゃき体操」の導入、余暇活動に使用する物品を購入したい。
→感染症予防に留意し「にじサロン」を開催したが、回数が少なかったこと、行事内容に工夫が足りなかったことが反省点である。
- ・喫茶の開催など毎月1回以上季節感のある行事を企画し、入居者間の交流の機会を設ける。
→少人数で行えたが毎月の開催はできなかった。
- ・地域で行われる祭りやイベントなどの情報を、入居者に向けて掲示、月刊紙で提供する。
→今年度は地域や施設の祭りやイベントが開催されなかった。

〔4〕栄養・給食

(目標1) 快適な食環境の整備に努め、安全で楽しみのもてる食事を提供する。

- ・季節の旬の素材や地元食材を取り入れ、四季の移り変わりを感じてもらう。
→旬の食材を取り入れる努力は出来たが、食材費等の予算の都合上使えない場合もあった。
買い物へ行く機会が少ない入居者にも食材から季節を感じ取ってもらえるよう旬を意識して使用していきたい。

- ・歳時記に合わせた行事食等の充実を図り、飽きのこない食事を提供する。
→実施できた。今後も継続していきたい。
- ・入居者個人の要望と嗜好を出来る限り考慮し、より満足していただける食事を提供する
→入居者との日々のコミュニケーションから要望を知ることができたが、予算の問題もあり提供することができないものもあったが嗜好調査の結果は満足度80%となった。
今後も80%以上を目指していきたい。
- ・年4回程度、食事会を行い普段と違った雰囲気の中での食事時間を楽しんでもらう。
→出来なかった。楽しみにしている入居者もいるので、ソーシャルディスタンスを守って開催したい。
- ・安全安心な食事提供のため、委託業者との情報交換・相互の提案を含めた連携を徹底する。
→大量調理マニュアルに沿って衛生管理が行えている。衛生管理書類もきちんと整備されており事故もなく安全に食事の提供を行えた。
- ・季節の植物等を置くなどして季節の流れが感じ取れる空間を演出する。
→出来なかった

(目標2) 栄養管理を行い、食事面からの生活の維持・向上を目指す。

- ・健康診断結果を基に栄養状態を把握し、食事面からの健康維持・増進を図る。
→健康診断結果を基に助言することは出来た。給食ソフトを活用していきたい。
- ・ポスター等の掲示物を活用し、入居者への健康・栄養に関する知識の普及に努める。
→出来た。

(目標3) 災害時の給食体制を強化する。

- ・災害時給食マニュアルを作成する。
→出来なかった。
- ・備蓄食品の整備・点検を行う。
→整備・点検は行えた。
- ・炊き出し訓練を年1回実施する。そのために炊き出し器を導入したい。
→出来なかった。

〔5〕 会議・研修

1. 在宅部門と連携を計り、入居者に関するサービス担当者会議等に参加する。
2. 職員の資質向上のため外部研修に参加する。
3. 入居者処遇、行事会議、給食等に関して会議を開催する。
(会議の種類) ①桜花会議 ②入居者処遇会議 ③給食会議

〔6〕 施設設備

- 適切な建物・設備等の保守及び修繕を行い、安全で住みよい環境を整える。
- ・正面玄関インターロッキング、裏玄関段差の修繕を行いたい。
→正面玄関インターロッキング、駐車場、浄化槽マンホールの整備を行った。

〔7〕 防災対策

1. 地震、火災など災害に備え、職員の防災知識、技術の向上をめざす。
2. 入居者向けに土砂災害など風水害の危険を周知する防災教育を行う。
→入居者向けに防災意識を高める座学を行った。

2. 公助、共助をめざし消防、地域、隣接施設等との協力体制を築いていく。
3. 年2回、夜間発生の大規模地震および火災を想定した避難訓練を実施する。
→目標どおり避難訓練を開催した。
4. 備蓄品（非常用食品、防災用物品など）を購入したい。
→必要な防災用物品を購入した。

〔8〕感染症対策

入居者に対して感染症に対する情報提供を行うと共に、感染症対策に対する知識を向上させる。
→新型コロナウイルス感染症について書面や掲示物などで情報提供、注意喚起を行った。

《在宅サービス》

〔1〕麻機園ショートステイ

（目標1）年間を通して稼働率75パーセントを目指す

→63.3パーセントだった。

- ・各部署職員（相談員、看護師、介護職、栄養士等）との情報を密にすることにより、適切なサービスが提供できるように心掛ける。
- ・新規利用時は、できるだけ多くの情報の収集に努め、本人、家族、ケアマネジャーの意向に沿ったサービスが提供できるようにする。
- ・ケアマネジャーへ空床情報を提供することにより稼働率の向上を目指す。

（目標2）利用前に健康状態を把握する

- ・新規利用時又は状態変化時等に、家族及びケアマネジャーに敏速かつ的確に情報の提供を行い、安心して利用していただけるようにする。
- ・利用前の本人、家族等の健康状態を情報を収集し、施設内で情報を共有する。
→今年度は新型コロナウイルスの流行もあり利用前の健康状態には特に留意した。
入所日当日の朝の検温の徹底、送迎時の検温、その他、自宅での状態の変化に注意した。

（目標3）感染症対策

- ・施設内で感染症が発生した場合は、家族、ケアマネジャーに情報を提供し、予定利用の有無、利用期間の変更等を調整し、本人、家族、施設に負担なく、また感染症が広がらないようにする。
→今年度は施設については、インフルエンザ、風邪、ノロウイルス、新型コロナウイルス等流行らなかった。入所前の手洗い、検温、マスクの着用、施設、車両の清掃等の効果があった。

（目標4）緊急利用にもできる限り対応する。

- ・介護者の急変等で急にショート利用の必要性がでた時には、ケアマネジャーと連携をとり、できる限りの情報収集し受け入れるようにする。
→特に法人内利用者については、本人の急な状態変化、介護者の療養等のケースについて敏速に対応でき利用につなげた。

（目標5）ロングショートにもできる限り対応する。

- ・病院退院後、自宅に帰るのが難しく施設入所までも時間がかかる場合等はロングショートとし施設入所までの家族の負担を軽減するように努める。
→生活状況等により通常のショートでなく施設入所前提のロングショート希望の人については情報を精査し対応できるようであれば直のロングショートで対応した。
麻機園入所申込者で状態の安定している人等については、家族、ケアマネと相談の上、通常の

ショートからロングショートへの変更を行い意向に沿うようにした。

〔2〕麻機園デイサービスセンター

（目標）「新規利用者10人獲得をめざす」

- ・営業活動に必要なアイテムを用意する。麻機園デイサービスの活動の様子がわかるカラーのチラシ等、営業相手に印象に残るアイテムを作成し営業活動を行う。
- ・栄養士と協力し、毎月利用者と共におやつ作りを行う。
- ・男性利用者向けの活動プログラムを開発する。
- ・本利用開始前の利用を検討する。

→目標「平均利用者13人をめざす」と掲げていましたが、4月から2月までの平均利用者数10.6人と大幅に目標を下回りました。

新規利用者が少なく、営業活動ができていないことが主な理由と考えます。

また、問い合わせがあってもお試し利用がないことで、話が進まないことが月1件以上ありました。利用している方も、転倒や体調不良により利用中止になった方もいます。利用者のニーズや必要としている支援を把握し、できるだけ長く利用していただけるように適切なサービスを提供するとともに、麻機園を利用することが生活の一部となり「麻機園のおかげで元気でいられる」と話してくださる利用者が、「今日も良い一日だった」と感じていただけるよう努めていきます。

〔3〕麻機園ヘルパーステーション

（目標1）住み慣れた家で安心して生活ができるよう支援する。

- ・利用者の「できること」を伸ばす関りをする。
 - ヘルパーの訪問を動機付けにして行っている方が何人かいた。
- また、できる作業をみつけ安全に行えるように努めた。
- ・利用者の心地よい「場」づくりをする。
 - 会話を通して、心配や不安の解消に努める、前向きな言葉かけ等状態に合わせて同じ生活リズムで生活ができるよう意識した。
- ・「目配り」「観察力」を養い、利用者や家族を把握する。
 - 挨拶を交わす際に「今日はどんな気分なのか」を意識して感じ取るように努めた。
 - また、ご家族より、利用者とはどんな事をどんな風に行っているか分からないと言われた事があり、利用者を始めご家族にも安心して頂けるように、具体的な表現で記録に残すようにしたい。
- ・職員の知識・技術向上の機会を持ち、ニーズに的確に対応できるようにする。

（目標2）利用者・稼働率をあげる。

- ・利用者35人、毎月稼働率60%を目指す。
 - 利用者30人前後、稼働率50%を超える月もあったが40%台で3月を終えている。
- ・居宅介護支援事業所への報告（情報・対応）は的確に密に行い連携を図る。
 - 迅速に報告や相談をすることで、新たに利用者を紹介して頂くことがあり、今後も誠実に対応できるように努める。
- ・地域の方に知ってもらえる場に参加する。
 - 感染症の流行も重なり機会もなく、活動しなかった。

〔4〕麻機園ケアプランサービス

（目標1）新しい法改正に向けて介護予防ソフトを導入する。

- ・今後要介護者でも総合事業を利用できるようになるため、介護予防ソフトを導入して請求が滞りなく行えるようにする。
- ・介護予防が重要視されてきており、また介護相談も行っているため要支援者が増加傾向にあるため、システムを導入して迅速な対応ができるようにする。
 - 介護予防ソフトの導入はできなかった。要支援者の利用者数はあまり変動なく常時30件を超えている状態。

(目標2) 利用者の多様なニーズに対応し、医療や多職種との連携や地域資源の活用をしながら自立支援を行うことができる。

- ・利用者の多様なニーズに対応できるよう自己研摩に努め、幅広い知識をもつ。
(研修に参加する。また制度改正時等情報収集をしっかり行い的確に理解する。)
 - 新型コロナウイルスの影響で研修等が開催されず、参加に至らなかった。
 - 制度改正に伴い説明会に参加して情報収集をし、内容の理解を深めることができた。
- ・利用者および家族の本音を聞き出せるような関係作りに努める
- ・利用者の思いが達成できるようなサービス計画を作成する。
 - 利用者や家族に寄り添う関係づくりに努め、利用者主体のケアプランを作成することができた。
- ・医療や他職種との連携を密にし、情報を共有する。
 - 入院時は情報提供を迅速にし、退院時カンファレンスに参加して関係職種と連携し情報を共有できた。また利用者の変化がある時にも多職種間で情報の共有に努めることができた。
- ・地域資源を把握し、多様なサービスを提案する。
 - 新型コロナウイルスの影響で地域の老人会やS型デイ、催し物等が行われなかった。令和3年度より地域の活動が少しずつ再開され始めているため、活用してもらえよう提案していく。

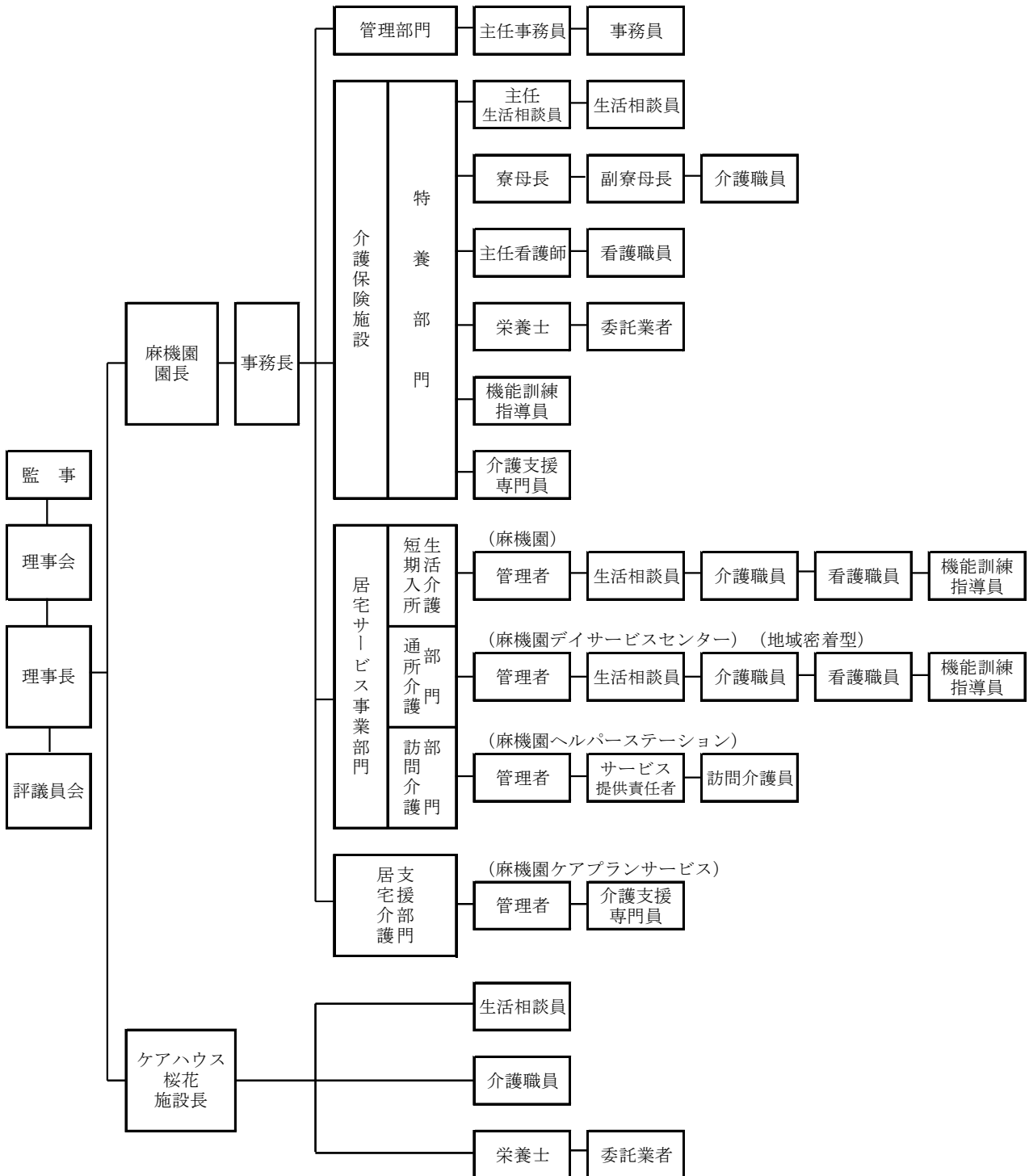
事業の状況

I. 社会福祉法人東桜会

〔1〕法人の経営施設及び事業

		社会福祉法による分類	介護保険法による分類
凡例		上段 : 種別	上段 : サービスの種類
		下段 : 施設又は事業所名	下段 : 事業所名
第一種	1	特別養護老人ホーム	介護老人福祉施設
		麻機園	麻機園
	2	軽費老人ホーム	
		ケアハウス桜花	
第二種	3	老人デイサービス事業	地域密着型通所介護 第1号事業【通所介護相当サービス】
		麻機園デイサービスセンター	麻機園デイサービスセンター
	4	老人短期入所事業	短期入所生活介護 介護予防短期入所生活介護
		麻機園	麻機園
	5	老人居宅介護等事業	訪問介護 第1号事業【訪問介護相当サービス】
		麻機園ヘルパーステーション	麻機園ヘルパーステーション
公益事業	6		居宅介護支援
			麻機園ケアプランサービス

〔2〕組織図



〔3〕 職員の状況

1. 所属別職員数(令和3年3月31日)

	麻機園	桜花	デイサービス センター	ヘルパー ステーション	ケアプラン サービス	計
施設長 (管理者)	1	1	<1>	<1>	<1>	2
事務員	2					2
生活相談員	4 <3>	1	2 (1)<1>			7(1)
看護職	7 (3)<3>		3 (1)<3>			10(4)
機能訓練 指導員	1		2<2>			3
介護職	41 (18)	2 (1)	4 (3)<2>			47(22)
栄養士	1	1				2
ホームヘルパー				5 (3)<1>		5(3)
支援専門員	2 <2>				3 <1>	5
その他	5(5)	4(4)				9(9)
医師	1(1)					1(1)
合計	65(27)	9(5)	11(5)	5(3)	3	93(40)

※ () 内は非常勤で再掲、< >内は兼任

2. 職員の資格(令和3年3月31日)

介護福祉士	38	介護支援専門員	13	認知症介護実践 (実践者)研修終了	8
社会福祉士	2	介護職員初任者 研修終了	15	認知症対応型サービス 事業管理者研修終了	3
社会福祉主事任用	17	介護福祉士養成実習 施設指導者研修終了	6	認知症介護指導者 養成研修終了	1

〔4〕役員会・評議員会等の開催状況

《監事監査》

1. 日 時 令和2年5月21日(木) 午前10時から午後3時
2. 場 所 静岡市葵区東527-1 特別養護老人ホーム麻機園 2階会議室
3. 出席監事 永野 守 望月敏弘
4. 出席理事等 長谷川達也 秋山 通 長島鈴江 海野隆由 塩沢水尾子 小野田武留

《監事定期監査》

1. 日 時 令和2年10月21日(水) 午前10時から午後0時30分
2. 場 所 静岡市葵区東527-1 特別養護老人ホーム麻機園 2階会議室
3. 出席監事 永野 守 望月敏弘
4. 出席職員等 秋山 通 長島鈴江 塩沢水尾子 小野田武留 海野隆由 佐藤勝洋 望月昭子

《第1回理事会》

1. 日 時 令和2年5月28日(木) 午後2時から午後3時15分
2. 場 所 静岡市葵区東527-1 特別養護老人ホーム麻機園 2階会議室
3. 出席理事 10名全員
長谷川達也 鈴木政夫 秋山 通 伊藤 靖 良知克彦
長島鈴江 佐藤勝洋 海野隆由 小塚 博 杉浦 徹
4. 出席監事 永野 守 望月敏弘
5. 議事

【決議事項】

- 第1号議案 令和元年度事業報告(案)について
- 第2号議案 令和元年度会計決算(案)及び監事監査報告について
- 第3号議案 令和2年度定時評議員会の開催日時、場所及び目的である事項等について
- 第4号議案 評議員選任・解任委員会運営規則の改正(案)について

【報告事項】

- 第1号 理事長及び副理事長の業務執行状況について

《定時評議員会(通算第4回)》

1. 日 時 令和2年6月18日(木) 午後2時から午後2時40分
2. 場 所 静岡市葵区東527-1 特別養護老人ホーム麻機園 2階会議室
3. 出席評議員 11名中9名
織田升美 海野孝子 平井哲男 帯金 武 深井千恵子
田村みね子 船城秀樹 伊藤秋一郎 飯田道隆
4. 欠席評議員 岡田善雄 山田 誠
5. 出席理事 長谷川達也 鈴木政夫 秋山 通 良知克彦 長島鈴江
佐藤勝洋 海野隆由 小塚 博 杉浦 徹
6. 欠席理事 伊藤 靖
7. 出席監事 永野 守 望月敏弘
8. 審議事項

- 第1号議案 1. 令和元年度計算書類（貸借対照表、収支計算書）及び財産目録の承認の件
2. 監事監査報告の件
3. 令和元年度事業報告の件

《第2回 理事会》（省略）

1. 決議事項の提案をした日及び理事の氏名 令和2年11月19日 理事長 長谷川達也
2. 理事会の決議があったものとみなされた日 令和2年11月27日
3. 議決に加わることのできる理事総数 10名
4. 理事会の決議があったものとみなされた事項の内容
第1号議案 令和2年度補正予算（案）について
第2号議案 新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業の実施について
第3号議案 介護ICT化補助事業の実施について
第4号議案 勤怠管理及び勤務表作成支援システムの導入について
第5号議案 令和2年度第1回決議の省略評議員会の開催及び目的である事項について

《第1回 臨時評議員会》（省略）

1. 決議事項の提案をした日及び理事の氏名 令和2年11月30日 理事長 長谷川達也
2. 評議員会の決議があったものとみなされた日 令和2年12月15日
3. 議決に加わることのできる評議員総数 11名
4. 評議員会の決議があったものとみなされた事項の内容
第1号議案 令和2年度補正予算（案）について

《第3回 理事会》

1. 日 時 令和3年3月10日(水) 午後2時から午後3時30分
2. 場 所 静岡市葵区東527-1 特別養護老人ホーム麻機園 2階会議室
3. 出席理事 定数10名中10名
長谷川達也 鈴木政夫 秋山 通 伊藤 靖 良知克彦
長島鈴江 佐藤勝洋 海野隆由 小塚 博 杉浦 徹
4. 出席監事 永野 守 望月敏弘
5. 議事

【決議事項】

- 第1号議案 令和2年度第2次補正予算（案）について
第2号議案 令和3年度事業計画（案）及び予算（案）について
第3号議案 令和2年度第2回臨時評議員会の日時、場所及び目的である事項等について
第4号議案 役員・評議員の候補者について

【報告事項】

- 第1号 理事長及び副理事長の業務執行状況について
(1)職員数等の状況 (2)看護職員の人材派遣受入れ (3)補助事業の執行
(4)設備、備品等の整備状況 (5)寄付の受入れ

《第2回 臨時評議員会》

1. 日 時 令和3年3月24日(水) 午後2時から午後2時55分
2. 場 所 静岡市葵区東527-1 特別養護老人ホーム麻機園 2階会議室
3. 出席評議員 11名中8名
 織田升美 平井哲男 帯金 武 深井千恵子
 田村みね子 船城秀樹 伊藤秋一郎 飯田道隆
4. 欠席評議員 岡田善雄 山田 誠 海野孝子
5. 出席理事 長谷川達也 秋山 通
6. 審議事項
 第1号議案 令和2年度第2次補正予算承認の件
 第2号議案 令和3年度事業計画及び予算承認の件
 第3号議案 評議員会運営規則改正案承認の件

〔5〕 財務規律の確立に向けた取組

公認会計士の活用

会計士の氏名	回 数	活用状況
河俣会計事務所 河俣貴之	12回	毎月1回、決算時期1回来所

〔6〕 低所得者に対する社会福祉法人利用者負担軽減制度

実施状況

	区 分	延人数	軽減総額
1	特別養護老人ホーム麻機園	112人	1,509,103円
2	麻機園(ショートステイ)	13人	137,242円

〔7〕 地域社会への貢献

1. 相談受付件数

区 分	男	女	計
件 数	7	6	13

2. さくらカフェの開催 (毎月第3土曜日)

	開催日	団 体 名 ・ 内 容	人 数
	4月～9月	新型コロナウイルスの為開催せず	
1	10月15日	東石橋公園で出張さくらカフェ開催 健康体操	21名
2	11月27日	東石橋公園で出張さくらカフェ開催 健康体操、セニアカー試乗会	18名
計			39名

3. 地域貢献訪問活動

	開催日	訪問先・団体等名称	内容
1	11月 7日	麻機が丘女子会	介護保険講座

4. 地域行事への参加

	開催日	訪問先・団体等名称	内容
1	11月 3日	北自治会「秋の文化展」	麻機園入所者とデイサービス利用者作品出店

Ⅱ 特別養護老人ホーム麻機園

〔1〕行事等

1. 日課の概要

時間	入所者	職員
6:00	起床	顔拭き
6:30	お知らせ放送	日課放送
7:30	朝食	食事介助
8:30	ラジオ体操	朝礼
8:45		排泄介助
9:15	入浴	申し送り
9:30	水分補給	入浴介助 一般浴(火・金)～11:30 機械浴(月・木)～11:30 チェアバス(水・土)～11:30
10:00	午前の活動レクリエーション (習字クラブ・園芸クラブ)	
12:00	昼食	食事介助
13:15	テイルルームさくらんぼ(毎火)	排泄介助・上半身清拭
14:00	入浴 レクリエーション(3階)	入浴介助 一般浴(火・金)～15:30 機械浴(月・木)～15:35 チェアバス(水・土)～15:35
15:00	おやつ	おやつ介助・水分補給
15:30	さくらんぼの会(移動売店)	
15:45		排泄介助
16:30	機能訓練(1・2階)	申し送り
17:00		
17:30	夕食	食事介助
18:00		口腔ケア
19:00		排泄介助
20:00	服薬	検温・与薬
21:00	消灯・就寝	戸締まり
22:00		巡視・水分補給
23:00		巡視・排泄介助・体位交換
0:00		巡視・体位交換
		巡視・体位交換
4:30		排泄介助
5:00		検温

出勤 7:00

↑

出勤 9:30

↑

休憩 11:30-12:30

↓

10:00 退勤

↓

休憩 12:00-14:30
の間に1時間

↓

16:00 退勤

↓

18:30 退勤

↓

仮眠
22:00-0:00
23:30-1:30
0:30-2:30
2:00-4:00

↑

出勤 17:00

2. 月別行事

月	行事・活動内容
2年 4月	・開園記念日・お花見
5月	・変わり湯(菖蒲湯)
6月	
7月	・流しそうめんを食べる会
8月	・物故者の冥福を祈る会 ・変わり湯(ミント浴)
9月	・敬老会
10月	・運動会 ・レクリエーション大会 ・焼き魚を食べる会
11月	・総合防災訓練
12月	・クリスマス会&忘年会
3年 1月	・新春の集い ・書初め ・園内初詣
2月	・節分
3月	

3. 定期的に行なう行事

(1) ティールーム さくらんぼ (火曜日)

月	回数	提供内容	参加人数(短期)
2年 4月	4回	コーヒー・紅茶等・どら焼き・今川焼・うさぎのまくら	75名(6名)
5月	4回	コーヒー・紅茶等・クレープ・ワッフル・たい焼き	75名(5名)
6月	4回	コーヒー・紅茶等・ロールケーキ・ブッセ・たい焼きアイス	69名(7名)
7月	3回	コーヒー・紅茶等・黒蜜アイス・かき氷・ロールケーキ	64名(10名)
8月	4回	コーヒー・紅茶等・ケーキ・かき氷・ところてん・甘酒	85名(7名)
9月	4回	コーヒー・紅茶等・どら焼き・かき氷・パンケーキ・たい焼き	79名(9名)
10月	4回	コーヒー・紅茶等・モンブラン・スイートパイ・駄菓子	78名(5名)
11月	3回	コーヒー・紅茶等・どら焼き・クリームサンド・ケーキ	63名(1名)
12月	4回	コーヒー・紅茶等・今川焼・焼き芋・ケーキ・シュークリーム	84名(0名)
3年 1月	6回	コーヒー・紅茶等・甘酒・たい焼き・フレンチトースト・ケーキ	138名(0名)
2月	3回	コーヒー・紅茶等・お汁粉・ケーキ・シュークリーム	63名(1名)
3月	5回	コーヒー・紅茶等・シュークリーム・どら焼き・ホットケーキ・桜餅	82名(1名)
延実施回数	47回	延参加人数	955名(52名)

(2) その他

行事名等	実施頻度・日程
さくらんぼの会(園内売店)	月曜日～土曜日
誕生者のお好み食	誕生月(該当者)

入所者健康診断	令和2年5月18日～5月22日 ・令和2年10月19日～10月22日
職員健康診断	令和2年6月13日～6月20日 ・令和2年10月 6日～10月27日

4. クラブ活動

(1) 習字クラブ (第1、第3木曜日)

月	実施回数	人数(短期)	月	実施回数	人数(短期)
2年 4月	2回	27名(3名)	10月	2回	24名(2名)
5月	中止		11月	2回	24名(1名)
6月	1回	13名(2名)	12月	2回	34名(2名)
7月	2回	22名(1名)	3年 1月	2回	25名(3名)
8月	2回	30名(4名)	2月	2回	33名(1名)
9月	2回	29名(5名)	3月	2回	29名(1名)
延参加人数					290名(25名)

(2) 園芸クラブ

月	内 容	参加延人数
2年 4月	顔合わせ	5名
5月	プチトマトの苗植え	6名
6月	ミニ多肉植物の寄せ植え作り	6名
7月	プチトマトの収穫・きゅうりの苗植え	18名
8月	プチトマトの収穫・きゅうりの苗の植え替え	6名
9月	サボテンの寄せ植え作り	6名
10月	ミニカボチャにハロウインの飾り付け	6名
11月	園外散歩	6名
12月	正月用生け花	5名
3年 1月	中止	
2月	花の塗り絵	5名
3月	反省会	5名
延参加人数		74名

5. その他随時

名 称 等	内 容 等
レクリエーション(寮母)	園外散歩、体操、輪投げ、歌、紙芝居等

〔2〕 ボランティア

1. グループ (敬称略・順不同)

グループ名	内容	訪問回数	延人数
桜筆会	ペン習字	1回	1名

2. 個人 (敬称略)

名前	訪問回数	名前	訪問回数
秋山三千代	2回	※佐藤信一	2回
石山久男	21回	※瀧かほる	1回

※静岡市元氣いきいき！シニアサポーター

3. 実習・体験学習

日程	実習等委託先・名称	人数
10月2日～10月23日	静岡県立大学短期大学部「介護実習ⅡB」	1名(延17名)
計		1名(延17名)

〔3〕 会議等

内容	開催・実施状況等
会議(月例)	職員会議・部門連絡会・給食会議・在宅利用連絡会・介護職会議・パート職会議 行事会議・リーダー会議・衛生委員会
会議(随時)	ヒヤリハット検討会・優先入所検討委員会・苦情解決会議・ショート会議 チューター会議
委員会(隔月)	褥瘡対策委員会・身体拘束廃止委員会・感染症対策委員会・事故防止委員会
苦情解決会議	令和2年7月15日
優先入所検討委員会	令和2年7月15日、令和2年11月11日
消防訓練	令和2年11月26日
夜間消防訓練	令和3年3月19日
監査等	令和3年2月3日(書面監査)

〔4〕入所者の状況

1. 年齢及び入所期間別入所者数（3月末日現在の入居者）

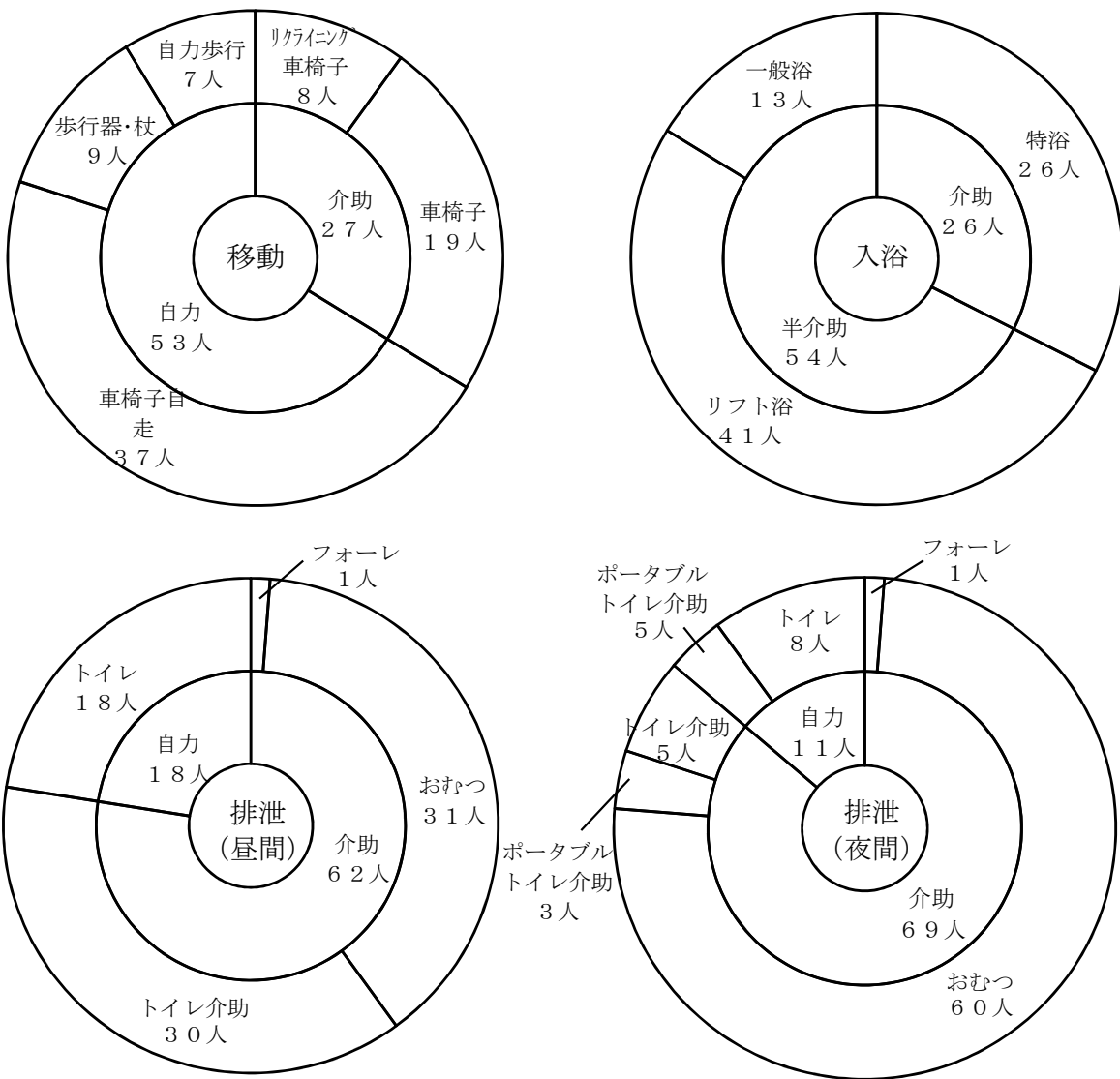
区分	入 所 期 間								入所者数	%	
	1年未満	1年～ 2年未満	2年～ 3年未満	3年～ 4年未満	4年～ 5年未満	5年～ 10年未満	10年以上				
～64	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	女	0	0	0	0	0	0	0	0		
65～69	男	0	0	0	0	0	0	0	0	1.3	
	女	0	0	0	0	1	0	0	1		
70～74	男	0	0	0	1	0	0	0	1	5.0	
	女	0	2	0	0	0	1	0	3		
75～79	男	0	1	0	3	0	0	1	5	15.0	
	女	1	2	1	1	0	2	0	7		
80～84	男	0	0	1	1	0	0	0	2	15.0	
	女	1	2	1	2	1	3	0	10		
85～89	男	1	2	0	0	0	0	0	3	26.2	
	女	7	1	3	2	2	2	1	18		
90～	男	2	0	0	0	0	0	0	2	37.5	
	女	6	6	4	2	2	7	1	28		
合 計	男	3	3	1	5	0	0	1	13	100	
	女	15	13	9	7	6	15	2	67		
	%								100		
	男	平均入所期間		3年4ヶ月	平均年齢		81.3歳				
	女			3年6ヶ月			87.9歳				
	総			3年5ヶ月			86.9歳				

※「平均年齢」及び「平均入所期間」欄は少数点第2位以下を四捨五入しています。

2. 要介護度別入所者状況

区分	月													計	%
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護3	21	18	18	19	19	20	21	21	22	22	23	25	249	25.8	
要介護4	30	32	31	31	31	31	31	32	32	33	31	30	375	38.8	
要介護5	31	30	31	30	30	30	29	27	27	26	26	26	343	35.4	
計	82	80	80	80	80	81	81	80	81	81	80	81	967	100	
平均要介護度	4.1	4.1	4.2	4.2	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.0	4.0	4.1		

3. 日常生活動作（3月末日現在の入所者）



4. 入退所

(1) 月別延人数及び入退所人数（入院者を除く）

区分		月												計	
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
延利用人数		2,363	2,473	2,393	2,479	2,480	2,379	2,407	2,388	2,450	2,446	2,186	2,436	28,880	
平均入所人数		78.8	79.8	79.8	80.0	80.0	79.3	77.6	79.6	79.0	78.9	78.1	78.6	79.1	
利用率		98.5	99.7	99.7	99.9	99.9	99.1	97.0	99.5	98.8	98.6	97.6	98.2	98.8	
元年度延利用人数		2,283	2,372	2,304	2,454	2,441	2,375	2,438	2,366	2,397	2,441	2,278	2,469	28,618	
入所	男	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	3	18
	女	2	1	0	1	0	1	4	1	1	2	1	1	15	
退所	男	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	18
	女	3	0	0	0	0	4	3	0	2	2	1	1	16	

(2) 入退所経路 (年度中の入退所者)

区 分	入 所				退 所				
	自宅	他施設	病院等	計	死亡	自宅	他施設	病院等	計
男	2	1	0	3	1	0	1	0	2
女	9	4	2	15	12	0	1	3	16
計	11	5	2	18	13	0	2	3	18

5. 入院 (入院実人数) ※前年度末より継続入院1名

区 分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
	入 院	男	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2	0
女		1	2	3	3	2	4	1	3	2	2	2	4	16
計		1	2	4	3	2	4	1	3	3	2	4	4	17
入院中	退所	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1
	死亡	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	1	1	2
延入院日数		30	42	72	48	24	32	11	36	28	21	18	46	259
退 院	男	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1
	女	0	0	2	3	1	1	1	2	1	0	1	1	8
	計	0	0	3	3	1	1	1	2	2	0	2	1	9
月末入院人数		1	2	2	0	1	0	0	1	0	1	1	2	

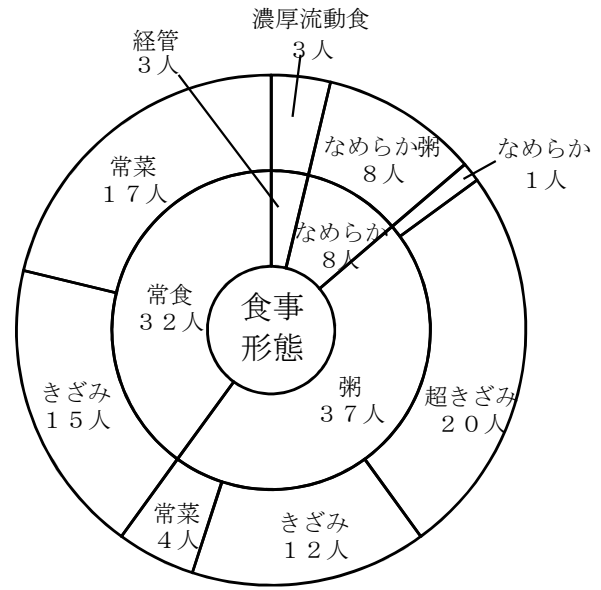
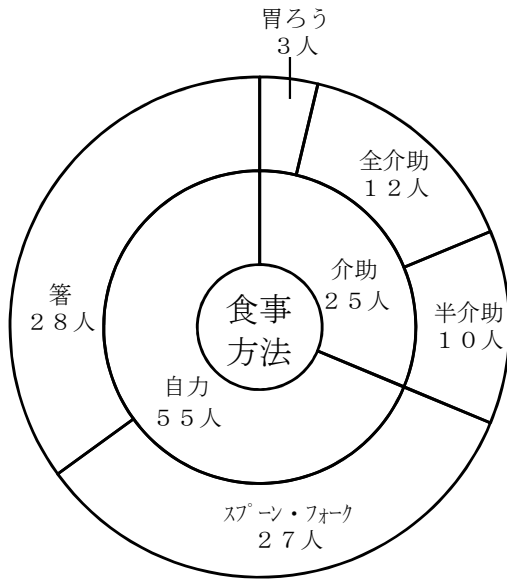
〔5〕 面会の状況

1. 月別面会人数 (窓越し面会)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	元年度
人 数	24	23	68	60	88	54	49	39	49	93	56	82	685	4,329

〔6〕給食の状況

1. 食事の方法及び形態 (3月末日現在の入居者)



※なめらか食とは、ミキサーにかけた食材をゼリー、ムース状に固めたものです。

2. 行事食献立

月日	行事	献立
4月 1日	開園記念日	桜おこわ・すまし汁・かき揚げ・赤魚塩焼き・炊き合わせ・菜の花和え
4月13日～ 4月15日	お好み焼き を食べる会	お好み焼き・フルーチェ
5月 5日	端午の節句	中華おこわ・味噌汁・ぶりの竜田揚げ・焼き茄子の生姜醤油・フルーツ
5月10日	母の日	サンドイッチ・コーンスープ・チキンナゲット・フルーツ
5月18日～ 5月20日	餃子を食べ る会	餃子・キムチ炒飯・ワカメスープ・フルーツ
6月15日～ 6月17日	焼肉を食べ る会	ご飯・焼肉・ワカメスープ・フルーツ
6月21日	父の日	カツ丼・味噌汁・大根サラダ・フルーツ
7月 7日	七夕	七夕そうめん・天ぷら・フルーツ
7月13日～ 7月15日	流しそうめん を食べる会	そうめん・薬味ねぎ
7月21日	土用丑の日	うな井・すまし汁・漬物・黄桃缶
8月15日	終戦記念日	ご飯・すいとん・鯖の塩焼き・ひじきと蓮根煮・スイカ

8月26日～ 8月28日	サンドイッチ を食べる会	サンドイッチ・コーンスープ・目玉焼き・フライドポテト・フルーツ
9月12日	敬老会	赤飯・すまし汁・桜えびかき揚げ・炊き合わせ・酢の物・漬物
9月18日	とろろグラ タンを食べ る会	全粥・けんちん汁・とろろグラタン・白はんぺんフライ・いちごムース
10月1日	十五夜	月見うどん・かぼちゃのそぼろ煮・あんみつ
10月19日～ 10月21日	焼き魚を 食べる会	さんま・鯰・ホッケ・ご飯・味噌汁・漬物
10月28日	運動会	おにぎり・味噌汁・鶏肉唐揚げ・ウインナーソーテー・ポテトサラダ・果物
10月29日	十三夜	栗おこわ・味噌汁・揚げだし豆腐・いんげん胡麻和え・オレンジ
11月9日～ 11月11日	天ぷらを 食べる会	ご飯・味噌汁・天ぷら・漬物・フルーツ
12月25日	忘年会	ご飯・すき焼き・フルーツ
1月1日～ 1月3日	お雑煮	雑煮・おせち料理・お煮しめ・チキンロール・紅白なます・フルーツ
1月25日～ 1月27日	たこ焼きを 食べる会	たこ焼き・炒飯・スープ・フルーツ
2月2日	節分	恵方巻き・沢煮椀・菜の花和え・フルーツ
2月24日～ 2月26日	カップラーメン を食べる会	ミニカップラーメン・おにぎり・焼売・フルーツ
3月17日	チョコムースを 食べる会	チョコレートムース

Ⅲ. ケアハウス桜花

〔1〕 行事等

1. 月別行事

月	行事・活動内容
2年 4月	
5月	
6月	・喫茶
7月	・喫茶
8月	・喫茶
9月	・敬老会 ・喫茶
10月	・あきまつり
11月	・喫茶
12月	・喫茶
3年 1月	
2月	・喫茶 ・節分豆まき
3月	・喫茶

2. 定期的に行なう行事等

行事名等	実施状況
月刊誌「桜花」の発行	毎月1回
かんたん体操	毎月2回
健康診断 ・ レントゲン撮影	年1回
インフルエンザワクチン接種	年1回
職員健康診断	年1回

〔2〕 訪問等の受け入れ

1. 見学者

目的	組数
入居希望者	27組

〔3〕 会議等

内容	開催・実施状況等
会議（月例）	職員会議・部門連絡会・在宅利用連絡会・桜花会議・給食会議
消防訓練	総合避難訓練（令和2年11月30日） 参加 46名 （令和3年 3月25日） 参加46名
指導監査	静岡市指導監査(令和3年2月3日) 書面監査

〔4〕入居者の状況（3月末日現在の入居者）

1. 入居者の出身地

区分	市町村					
	静岡市	県内東部	県内中部	県内西部	県外	計
男	13	0	1	1	3	18
女	19	1	4	0	3	27
計	32	1	5	1	6	45

2. 在籍期間別入居者数

区分	期間	1年未満	1年～ 2年未満	2年～ 3年未満	3年～ 4年未満	4年～ 5年未満	5年～ 6年未満	6年～ 7年未満	7年以上	計	平均在籍 期間
	男		5	1	4	3	0	0	2	3	18
女		3	2	6	2	2	1	2	9	27	6年8ヶ月
計		8	3	10	5	2	1	4	12	45	5年6ヶ月
%		17.8	6.7	22.2	11.1	4.4	2.2	8.9	26.7	100	
令和元年度%		25.0	16.6	8.3	2.1	4.2	12.5	4.2	27.1	100	

3. 年齢別入居者数

区分	年齢(才)	～64	65 ～69	70 ～74	75 ～79	80 ～84	85 ～89	90 ～94	95 ～99	100～	計	最高 年齢
	男		0	1	2	5	5	3	2	0	0	18
女		0	0	2	6	1	11	6	1	0	27	95
計		0	1	4	11	6	14	8	1	0	45	
%		0	2.2	8.9	24.5	13.3	31.1	17.8	2.2	0	100	
令和元年度%		0	2.1	14.6	16.6	14.6	35.4	14.6	2.1	0	100	

※平均年齢83.2才（男性79.8才 女性85.3才）

4. 介護保険要介護認定人数

要介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	平均 介護度
人数	5	5	8	6	3	0	0	27	1.71
元年度人数	6	6	8	4	0	1	0	25	1.54

5. 介護保険利用状況（重複利用有）

区 分	訪問介護	通所介護	通所リハビリ	訪問看護	福祉用具貸与	福祉用具購入	計
男	4	2	2	0	3	0	11
女	14	5	5	0	8	0	32
計	18	7	7	0	11	0	43

6. 入浴の状況

区 分	大浴場 (デイ入浴含む)	個人浴室
人 数	37	8
%	82.2	17.8

7. クラブ活動等の参加状況

区分		月												計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
書道	回 数	0	0	0	2	2	2	2	2	2	2	2	2	18
	延人数	0	0	0	11	10	11	9	10	9	8	10	10	88
喫茶	回 数	0	0	1	1	1	1	0	1	1	0	1	1	8
	延人数	0	0	17	24	17	20	0	19	19	0	18	18	152

※書道クラブは新型コロナウイルス感染症対策のため、講師と協議の上4月～6月は休止とした

8. 入退居

(1) 月別入退居者数

区分		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	
初日 在籍人数	計	47	47	46	47	44	44	43	43	47	47	46	45	546	
	入居率	%	94	94	92	94	88	88	86	86	94	94	92	90	91.0
入居	男	1	0	0	1	1	0	0	0	2	0	0	0	5	9
	女	1	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	4	
退居	男	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	3	10
	女	0	1	0	2	0	1	0	0	0	1	1	1	7	
末日 在籍人数	男	17	17	17	16	17	17	16	16	18	18	18	18	44	
	女	30	29	29	27	27	26	26	27	29	28	27	26		
	計	47	46	46	43	44	43	42	43	47	46	45	44		

(2) 入退居経路（年度中の入退居者）

区分	入居				退居				
	自宅	他施設	病院等	計	死亡	自宅	他施設	病院等	計
男	4	0	0	4	0	0	3	0	3
女	5	0	0	5	2	0	4	1	7
計	9	0	0	9	2	0	7	1	10

9. 入居前の生活（3月末日現在の入居者）

区分	家庭				施設・病院等							合計
	家族と同居	老人夫婦	一人暮らし	計	養護老人ホーム	軽費老人ホーム	老人保健施設	一般病院	老人病院	その他施設	計	
男	4	1	10	15	0	0	1	0	0	2	3	18
女	8	1	14	23	0	0	1	1	0	2	4	27
計	12	2	24	38	0	0	2	1	0	4	7	45

10. 事務費負担区分の状況（3月末日現在の入居者）

対象収入による階層区分(年収)		事務費負担額	人数	%
1	～ 1, 500, 000	10, 000	25	55. 8
2	1, 500, 001 ～ 1, 600, 000	13, 000	2	4. 4
3	1, 600, 001 ～ 1, 700, 000	16, 000	3	6. 7
4	1, 700, 001 ～ 1, 800, 000	19, 000	1	2. 2
5	1, 800, 001 ～ 1, 900, 000	22, 000	2	4. 4
6	1, 900, 001 ～ 2, 000, 000	25, 000	5	11. 1
7	2, 000, 001 ～ 2, 100, 000	30, 000	1	2. 2
8	2, 100, 001 ～ 2, 200, 000	35, 000	2	4. 4
9	2, 200, 001 ～ 2, 300, 000	40, 000	2	4. 4
10	2, 300, 001 ～ 2, 400, 000	45, 000	0	0
11	2, 400, 001 ～ 2, 500, 000	50, 000	0	0
12	2, 500, 001 ～ 2, 600, 000	57, 000	1	2. 2
13	2, 600, 001 ～ 2, 700, 000	64, 000	1	2. 2
14	2, 700, 001 ～ 2, 800, 000	70, 300	0	0
15	2, 800, 001 ～	70, 300	0	0
計			45	100

〔5〕 ゲストルーム利用状況

区分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
	実人数		2	1	1	1	2	3	2	2	0	0	0	1
延利用日数		25	5	9	32	9	23	3	6	0	0	0	11	123
目的	体験入居	2	1	1	1	1	3	2	2	0	0	0	0	11
	利用者家族	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2

〔6〕給食の状況

1. 行事食献立

	行 事	献 立
4月1日 昼食	開園記念日	弁当(赤飯・春の天ぷら・煮メ・うどの酢味噌和え・香の物・いちご・オレンジ) 吸い物・祝いまんじゅう
5月5日 昼食	端午の節句	大葉寿司・味噌汁・カツオ竜田揚げ・柏餅
7月7日 昼食	七夕	七夕そうめん・夏の天ぷら・メロン
7月21日 昼食	土用の丑	うな井・吸い物・茶碗蒸し・奈良漬・ケーキ
9月12日 昼食	敬老会	弁当(茶飯・うな井・ちらし寿司・秋の天ぷら・筑前煮・なます・さつま芋茶巾・焼売・ 玉子焼き・オレンジ・梨)味噌汁・祝い饅頭
10月1日 昼食	十五夜	かやくご飯・吸い物・鮭塩焼き・里芋まんじゅうのあんかけ・種なし巨峰
12月24日 昼食	クリスマス・イヴ	えびピラフ・コンソメスープ・ローストチキン・隠元と蟹のサラダ・キウイフルーツ
12月31日 夕食	大晦日	年越しそば・味噌田楽・いちご
1月1日 朝食	元旦	お雑煮 おせち料理(紅白かまぼこ・錦玉子・黒豆・かずのこ・昆布巻・紅白ようかん)
1月2日 昼食	元旦	お雑煮 おせち料理(紅白かまぼこ・伊達巻き・なます・栗きんとん・田づくり)・ヨーグルト和え
1月7日 朝食	七草	七草粥・がんも煮・ピーマンのちりめんじゃこ炒め・ホットミルク
1月15日 朝食	小正月	小豆粥・白はんぺんの磯辺焼き・ピーマンと茄子の甘酢炒め・マンゴー缶・ヤクルト
2月3日 昼食	節分	助六寿司・味噌汁・鰯の落とし揚げ・いちご
3月3日 昼食	ひな祭り	ちらし寿司・吸い物・ぬた和え・菜の花浸し・桜餅

※ その他、誕生日食・その場で選べる選択食・入居者からのリクエスト食を提供。

IV 在宅サービス

【1】麻機園（ショートステイ）

1. 利用状況

区分		月												計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
日数		30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
利用者	男	2	1	1	1	3	3	4	6	4	4	5	4	38
	女	17	17	16	20	18	20	19	20	20	19	16	15	217
計		19	18	17	21	21	23	23	26	24	23	21	19	255
延利用人数		336	367	342	398	438	442	365	371	454	418	387	305	4,623
1日平均利用人数		11.2	11.8	11.4	12.8	14.1	14.7	11.8	12.4	14.5	13.5	13.8	9.8	12.7
1人平均利用日数		17.7	20.4	20.1	19.0	20.9	19.2	15.9	14.3	18.9	18.2	18.4	16.1	18.1
利用率		56.0	59.2	57.0	64.2	70.7	73.7	58.9	61.8	73.2	67.4	69.1	49.2	63.3
元年度利用率		70.7	68.7	64.2	50.3	64.5	73.7	67.1	72.8	61.9	48.2	46.6	59.3	62.2

2. 利用状況の比較

年度	区分			延利用人数	1日平均利用人数	1人平均利用日数
	男	女	計			
2年度	38	217	255	4,623人	12.7人	18.1日
元年度	48	242	290	4,554人	12.4人	15.7日

※ 年間利用者の男女比率：男性 14.9%、女性 85.1%

3. 介護度別実利用人数

区分		月												計	%
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
要支援1		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1		1	0	0	1	2	1	1	2	3	3	2	3	19	7.5
要介護2		2	2	2	2	2	2	4	4	3	3	1	1	28	11.1
要介護3		8	10	8	10	9	11	9	11	11	12	12	11	122	48.2
要介護4		6	4	6	7	6	7	7	8	6	4	5	3	69	27.3
要介護5		2	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1	1	15	5.9
計		19	17	17	21	20	23	23	26	24	23	21	19	253	100
平均要介護度		3.32	3.24	3.35	3.24	3.10	3.30	3.22	3.08	2.96	2.87	3.10	2.89	3.13	
元年度要介護度		2.71	2.85	3.07	3.21	3.13	3.14	3.12	2.96	2.83	3.00	2.89	3.09	3.00	

【2】麻機園デイサービスセンター

〔1〕行事・活動

1. 日課

時 間	1 日 の 流 れ	備 考
9 : 3 0	利用者来園 ・手洗い、うがい お茶のサービス ・健康チェック ・職員挨拶	連絡帳受付 昼食人数チェック
1 0 : 1 5	リハビリ体操 ・健口体操	
1 1 : 3 0	昼食 休養 ・TV ・談話	
1 2 : 4 5	入浴開始 選択活動	
1 4 : 3 0	グループ活動	
1 5 : 3 0	おやつ ・談話等	
1 6 : 0 0	唄の会	
1 6 : 2 5	トイレ ・連絡事項	連絡帳返却
1 6 : 3 5	利用者退園準備	
1 6 : 4 0	利用者退園	送迎車出発

2. 月別実施内容

月	行 事	活 動 内 容
2年 4月	いちご大福作り	△誕生会・カレンダー作り・リハビリ体操・選択レクリエーション・グループ活動
5月	柏餅作り	△誕生会・カレンダー作り・リハビリ体操・選択レクリエーション・グループ活動
6月	どら焼き作り	△誕生会・カレンダー作り・リハビリ体操・選択レクリエーション・グループ活動
7月	七夕ゼリー作り	△誕生会・カレンダー作り・リハビリ体操・選択レクリエーション・グループ活動
8月	わらび餅作り	△誕生会・カレンダー作り・リハビリ体操・選択レクリエーション・グループ活動
9月	おはぎ作り	△誕生会・カレンダー作り・リハビリ体操・選択レクリエーション・グループ活動
10月	運動会	△誕生会・カレンダー作り・リハビリ体操・選択レクリエーション・グループ活動
11月	スイートポテト作り	△誕生会・カレンダー作り・リハビリ体操・選択レクリエーション・グループ活動
12月	クリスマスバイキング	△誕生会・カレンダー作り・リハビリ体操・選択レクリエーション・グループ活動
3年 1月	いも餅作り	△誕生会・カレンダー作り・リハビリ体操・選択レクリエーション・グループ活動
2月	パフェ作り	△誕生会・カレンダー作り・リハビリ体操・選択レクリエーション・グループ活動
3月	蒸し饅頭作り	△誕生会・カレンダー作り・リハビリ体操・選択レクリエーション・グループ活動

3. 定例・随時

・棒体操、リズム体操、ラジオ体操、歌、誕生会

〔2〕利用者の状況（介護予防も含む）

1. 月別登録人数・利用人数

区分		月												計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
新規登録人数		0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	3
登録廃止人数		1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	4
登録人数	男	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	
	女	15	16	16	16	15	16	17	17	16	16	16	16	
	計	18	19	19	19	18	19	20	20	19	19	19	18	
元年度登録人数		21	20	20	21	22	21	23	22	22	21	21	19	
利用実人数		16	17	16	17	17	19	19	17	17	16	16	18	
実施日数		22	21	22	23	21	22	22	21	20	19	20	23	256
延利用人数		195	193	198	213	200	209	210	191	177	172	178	206	2,342
1日平均利用人数		8.9	9.2	9.0	9.3	9.5	9.5	9.5	9.1	8.9	9.1	8.9	9.0	9.1
送迎		194	193	197.5	212	200	208.5	208.5	188.5	177	171	176.5	205	2,331
入浴		181	180	186	191	185	189	185	172	165	157	162	193	2,146
食事		195	193	198	213	200	209	210	191	177	172	178	206	2,342

※送迎は往復で1、片道で0.5

2. 利用状況の比較（定員18人）

区分	実施日数	年間延べ 利用人数	1日平均 利用人数	利用率
2年度	256日	2,342人	9.1人	50.8%
元年度	257日	2,666人	10.4人	57.6%

3. 利用者の家族構成（3月末日現在の利用者）

家族構成	2年度	元年度	30年度
独居老人世帯	2	2	5
老人夫婦の世帯	1	2	2
その他の世帯	15	15	15
計	18	15	22

4. 利用者の年齢（3月末日現在の利用者）

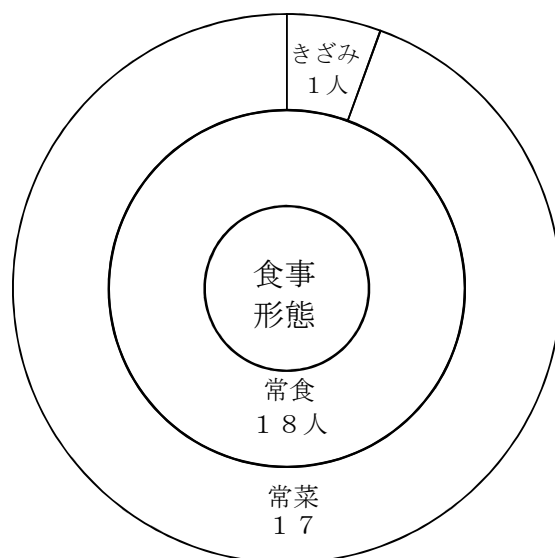
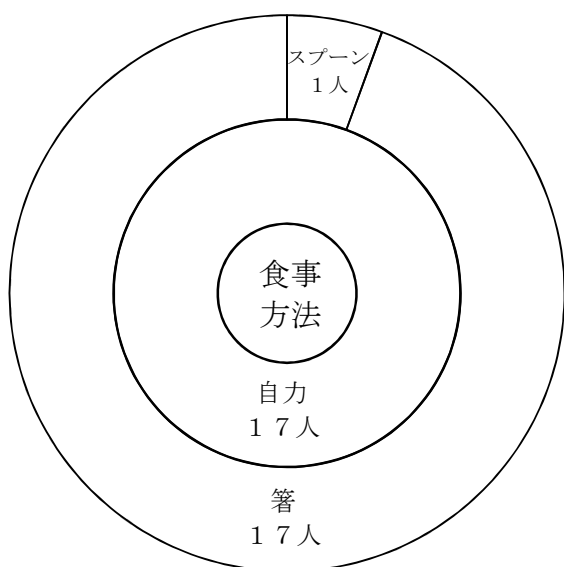
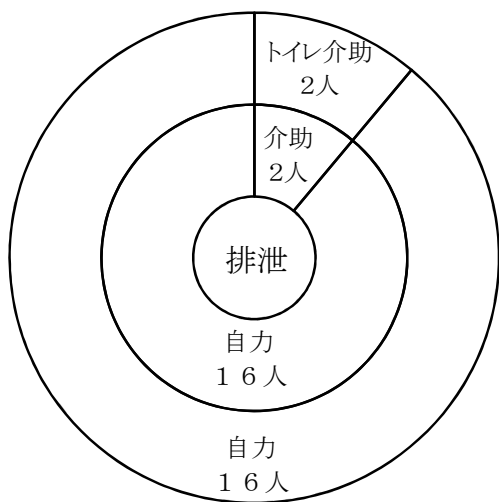
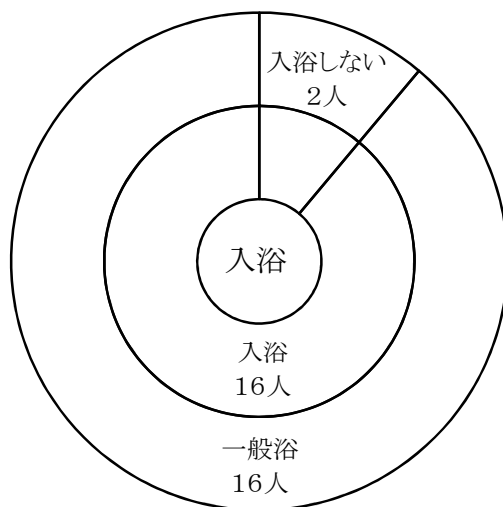
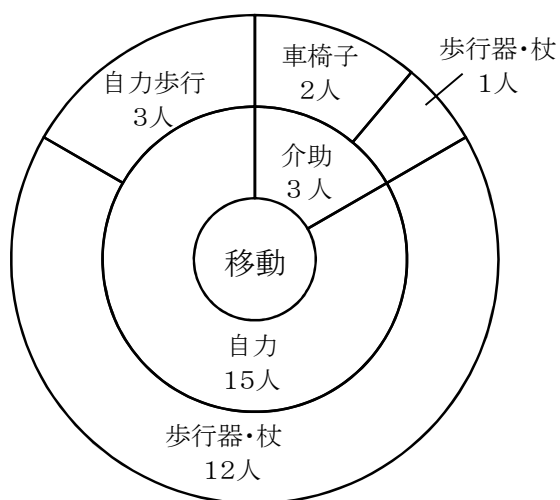
区分	年齢(才)										計	最高年齢
	～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～			
男	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2	91	
女	0	0	0	0	1	6	7	2	0	0	97	
計	0	0	0	0	1	7	8	2	0	0	97	
%	0	0	0	0	5.6	38.9	44.4	11.1	0	100		

※平均年齢 89.7才（男性59.5才 女性89.7才）

5. 要介護度別利用人数

区分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	%
		実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数		
事業対象者	実人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1	実人数	3	3	3	2	2	2	1	1	1	1	1	1	21	10.2
	延人数	14	13	12	10	6	9	5	4	3	4	4	3	87	3.7
要支援2	実人数	1	1	1	2	2	3	4	4	4	4	4	4	34	16.6
	延人数	8	9	9	18	11	21	31	30	25	25	28	29	244	10.4
要介護1	実人数	1	2	2	4	4	4	5	4	4	3	3	4	40	19.5
	延人数	13	15	17	48	43	46	47	44	36	33	40	53	435	18.6
要介護2	実人数	8	8	7	6	6	7	6	6	6	5	4	5	74	36.1
	延人数	125	124	126	107	108	104	94	85	84	65	64	71	1,157	49.4
要介護3	実人数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	4	4	29	14.2
	延人数	31	29	31	26	29	28	32	28	29	45	42	50	400	17.0
要介護4	実人数	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	3.4
	延人数	4	3	3	4	3	1	1	0	0	0	0	0	0	9.3
要介護5	実人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	実人数	16	17	16	17	17	19	19	17	17	16	16	18	205	100
	延人数	195	193	198	213	200	209	210	191	177	172	178	206	2,342	100
平均要介護度		2.0	1.9	1.9	1.7	1.8	1.7	1.7	1.6	1.7	1.8	1.7	1.7	1.8	

6. 日常生活動作能力（3月末日現在の利用者）



【3】麻機園ヘルパーステーション

〔1〕利用者の状況（介護予防も含む）

1. 月別利用世帯・人数

区分		月												計	
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
世帯	登録	29	29	27	27	28	28	30	31	29	29	27	28	342	
	派遣	29	29	27	27	28	28	30	31	28	27	27	28	339	
	元年度派遣	25	22	26	28	31	32	30	27	27	29	28	29	333	
人数	登録	男	7	7	7	8	9	7	7	8	8	8	7	7	90
		女	24	24	22	21	20	22	24	24	22	22	21	22	268
	派遣	31	31	29	29	29	29	31	32	29	28	28	29	355	
	元年度派遣	26	22	28	30	33	34	32	29	29	31	30	31	355	

2. 利用者の年齢（3月末日現在の利用者）

区分	年齢(才)	~64	65 ~69	70 ~74	75 ~79	80 ~84	85 ~89	90 ~94	95 ~99	100~	計	最高 年齢
	男	0	0	0	1	2	1	3	0	0		
女	0	0	3	2	3	8	6	0	0	22	93	
計	0	0	3	3	5	9	9	0	0	29	93	
%	0	0	10	10	18	31	31	0	0	100		

※平均年齢 84.5才（男性 85.3才 女性 84.3才）

3. 利用者の要介護度

区分		月												計	%
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
要支援1	5	4	3	3	3	4	3	4	3	3	4	4	43	12.6	
要支援2	6	6	6	7	7	7	7	8	8	8	8	8	86	25.1	
要介護1	12	13	14	13	13	12	14	13	11	9	7	7	138	40.4	
要介護2	3	3	3	3	3	3	4	3	3	3	4	5	40	11.7	
要介護3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	20	5.8	
要介護4	2	2	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	13	3.8	
要介護5	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.6	
計	30	30	28	28	27	28	30	31	28	27	27	28	342	100	
平均要介護度	1.8	1.8	1.4	1.4	1.3	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.8	1.9	1.9	1.6	

4. 対象世帯数

区分 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	元年度
独居老人世帯	20	20	19	19	21	21	21	23	21	19	21	22	247	255
老人夫婦世帯	5	5	5	5	4	4	6	5	4	4	3	3	53	56
老人同居世帯	4	4	3	3	3	3	3	3	3	4	3	3	39	52
65才未満世帯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	29	29	27	27	28	28	30	31	28	27	27	28	339	333

5. 派遣状況

区分 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	元年度
当初計画日数	90	89	88	95	92	91	91	88	84	86	84	92	1,070	1,042
実稼働日数	88	86	90	95	89	91	90	86	84	83	84	91	1,057	1,018
派遣 人数	実人数	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60	60
	延人数	308	268	309	268	274	275	290	279	241	234	225	276	3,247

※ 派遣ヘルパーの延べ人員及び実稼働日数：前年度比 104%、対象世帯数 96%

6. 活動時間

区分 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	元年度
身体介護	117	107	142	126	134	124	133	131	118	119	101	137	1,489	1,354
生活援助	74	69	78	76	70	74	79	70	64	57	50	61	822	748
計	191	176	220	202	204	198	212	201	182	176	151	198	2,311	2,102

〔2〕 介護予防・日常生活支援総合訪問型生活援助サービス事業の状況

※令和2年度のご利用はありませんでした

【4】麻機園ケアプランサービス

〔1〕 利用者の状況

1. 実施状況

区分		月												計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
要介護認定	訪問調査	6	6	8	6	10	5	9	8	10	10	10	10	98
	申請代行	4	10	6	8	8	11	5	4	6	6	4	5	77
ケアプラン作成数		64	68	70	71	71	72	73	72	74	75	72	70	852
元年度ケアプラン作成数		65	67	70	69	73	75	73	69	67	66	64	62	820

2. ケアプラン作成の状況

区分		月												計	%
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
要介護1		25	28	28	29	27	28	32	31	30	29	28	28	343	40.3
要介護2		24	23	24	22	23	22	21	21	23	22	19	19	263	30.8
要介護3		6	8	11	12	12	11	10	10	12	13	15	15	135	15.8
要介護4		8	8	6	7	7	10	9	8	8	9	7	7	94	11.1
要介護5		1	1	1	1	2	1	1	2	1	2	3	1	17	2.0
計		64	68	70	71	71	72	73	72	74	75	72	70	852	100
平均要介護度		2.0	1.99	1.97	2.0	2.07	2.03	1.99	2.01	2.01	2.11	2.14	2.06	2.04	

3. 介護予防プランの作成状況

区分		月												計	%
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
要支援1		18	16	16	18	18	18	17	18	16	15	13	14	197	47.1
要支援2		18	20	17	19	18	18	18	18	18	18	19	20	221	52.9
計		36	36	33	37	36	36	35	36	34	33	32	34	418	100
城北地域包括支援センター		33	33	30	34	33	33	32	33	31	30	29	31	382	91.3
長尾川地域包括支援センター		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	2.9
八幡山地域包括支援センター		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	2.9
城東包括支援センター		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	2.9

〔2〕新たなケアプラン作成の依頼先及び廃止の状況

1. 依頼先の状況

区分 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	%
家族から直接	1	0	1	2	0	3	1	1	0	0	0	0	9	31.0
被認定調査者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
民生委員等紹介	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	6.8
支援から介護へ	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	10.4
地域包括支援センターから紹介	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法人職員の紹介	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	3	10.4
法人内施設	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	3	10.4
その他	0	1	2	1	2	0	2	0	0	1	0	0	9	31.0
計	2	2	7	3	2	3	3	2	3	1	0	1	29	100

2. 廃止の状況

区分 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	%
介護から支援へ変更	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
病院・施設への入院又は入所	1	2	1	1	0	2	1	1	1	1	0	4	15	55.6
死亡	0	0	0	1	2	1	1	0	1	2	2	1	11	40.7
その他	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	3.7
計	1	2	1	2	2	3	3	3	2	3	2	5	27	100

〔3〕相談の状況

1. 相談方法の比較

区分		電話	来所	訪問	夜間	職員	計
2年度	件数	20	5	4	0	0	29
	%	69	17	14	0	0	100
元年度	件数	30	5	0	0	0	35
	%	86	14	0	0	0	100

2. 相談ケースの状況

状況	寝たきり	認知症	1人暮らし	虚弱	準寝たきり	生活自立	その他	計
件数	2	1	0	20	0	0	6	29

3. 相談内容

内容	介護方法	福祉用具	在宅福祉サービス	保健医療	施設入所	住宅改修	介護保険	介護予防	その他	計
件数	0	0	0	0	0	1	25	3	0	29
%	0	0	0	0	0	3.4	86.4	10.4	0	100
元年度%	0	0	5.7	0	14.3	0	48.6	25.7	5.7	100

4. 相談への対応

対応	情報提供・指導等	他機関斡旋	サービス調整	サービス申請代行	その他	計
件数	0	0	29	0	0	29
%	0	0	100	0	0	100
元年度%	0	0	100	0	0	100

社会福祉法人東桜会役員等

理事長	長谷川達也	評議員	岡田善雄
副理事長	秋山通	評議員	山田誠
理事	鈴木政夫	評議員	織田升美
理事	伊藤靖	評議員	海野孝子
理事	良知克彦	評議員	平井哲男
理事	長島鈴江	評議員	帯金武
理事	佐藤勝洋	評議員	深井千恵子
理事	海野隆由	評議員	田村みね子
理事	小塚博	評議員	船城秀樹
理事	杉浦徹	評議員	伊藤秋一郎
監事	永野守	評議員	飯田道隆
監事	望月敏弘		

発行日 令和3年5月26日
法人名 社会福祉法人 東桜会
所在地 〒420-0962
静岡県葵区東527番地の1
電話 (054)247-8739
FAX (054)247-8640
ホームページアドレス
<https://www.sakura.or.jp/>